

平成 26 年度

事業報告書

《社会福祉法人ふたば会》

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所
デイサービスセンター
在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所

ふたば荘

平成26年度については、基本理念・基本方針・運用計画にもとづき、利用者・家族の意志及び人格を尊重しながら自立支援を行うと共に、地域の社会資源としてその福祉の向上に寄与できるような他の各種サービスと連携しながら事業を実施した。そして、平成27年度の大規模な介護保険制度改正、報酬改定に備え、それに合わせた経営ができるような新たな制度の習熟を図り、事業内容の再検討、職員の意識改革へ取り組んだ。

〔特別養護老人ホーム〕 その人らしく自立した生活ができるよう、利用者個々の状態、ニーズを適格に把握し、それに対応するケアプランを作成、実施して少しでも安心と満足を感じていただけるよう努めた。特に、26年度は介護力向上講習会の2年目ということ、前年度に引き続いて水分摂取、歩行運動の充実を図るとともに、新たに認知症ケア、常食化にも取り組んだ。しかし、まだまだ水分、歩行への取り組みも充実した段階ではなかったため、新たな取り組みも処遇に生かせるところまで行かず、今後の課題となった。

〔デイサービスセンター〕 在宅での自立した生活を継続できるように、居宅介護支援事業所等と連携してその支援に取り組んだ。しかし、職員体制からレスパイト中心の事業実施となり、他事業所と差別化を図るサービス提供ができなかった。結果、利用者数を増やすことができず、現状では新たな報酬体系での経営を再検討する必要が生じた。

〔ショートステイ〕 在宅生活を支えるために利用者、介護者の必要に応じて事業提供をしたが、専用、空きベットを合わせて稼働率は伸び悩んだ。原因としては、施設入所による利用者減と急な入院増により空きが埋めきれない状況であったことが主因と考えられる。

〔在宅介護支援センター〕 総合的な相談業務を行い、サービスや施設の利用に繋げた。また、基本チェックリスト回収兼調査事業を引き続いて実施した。そして、地域包括支援センター、関係諸機関との連携を密にしながら、船木・泉川両ケアネットワーク推進協議会を開催し、マップづくりなどを通して高齢者福祉に対する見識を深めるとともに、各種制度、施設の現状等の理解を促進し、地域住民の福祉の向上に努めた。

〔成年後見センター〕 10件の後見活動を行っているが、後見の必要性は年々高まってきている。特に、受任以前の相談も含めて、高齢者・障害者の分野を問わず経済的虐待に絡む問題が主流となっている中で、後見人1名体制での事業実施であるため、今後の受任について検討していく必要がある。

〔指定居宅介護支援事業所〕 利用者及び家族の意見・要望を踏まえたアセスメントを基に、個々の状況に応じたケアプランの作成し、各福祉サービス事業所と連携しながら利用者ニーズに応じたケア目標の達成に努め、その人らしく自立した生活が送れるよう支援した。

1. 施設の概要

法人の沿革

昭和53年	8月	4日	社会福祉法人ふたば会設立
昭和54年	4月	5日	特別養護老人ホームふたば荘開設（定員50人）
昭和57年	4月	1日	特別養護老人ホームふたば荘定員80人変更開所
平成9年	4月	1日	デイサービスセンターふたば荘及び 在宅介護支援センターふたば荘事業開始
平成11年	10月	25日	居宅介護支援事業指定（3870500174）
平成12年	1月	5日	訪問入浴介護事業指定（3870500232）
平成12年	2月	25日	通所介護事業指定（3870500323）
平成12年	3月	17日	短期入所生活介護事業指定（3870500505）
平成12年	4月	1日	介護老人福祉施設指定（3870500570）
平成19年	9月	30日	訪問入浴介護事業廃止
平成23年	4月	19日	特別養護老人ホームふたばの森設置認可
平成23年	4月	22日	特別養護老人ホームふたばの森指定（3890500238）
			グループホームふたばの森指定（3890500220）
平成23年	4月	28日	ショートステイふたばの森指定（3870502162）
			デイサービスセンターふたばの森指定（3870502154）
平成23年	5月	1日	ふたばの森各事業所事業開始

法人の土地・建物・定員

【所在地】 新居浜市船木字上原甲959番地1～4，962番地

【敷地面積】 11,106.61㎡

《特別養護老人ホームふたば荘》

（建物構造） 鉄筋コンクリート造一部2階建

（建物面積） 1,999.68㎡

（定員） 80人

（補助）

日本自転車振興会

193,220千円

新居浜市

15,000千円

《デイサービスセンターふたば荘》

（建物構造） 鉄骨造平屋建

（建物面積） 396.25㎡

（定員） 35人

（補助）

国庫補助

44,639千円

《在宅介護支援センターふたば荘》

(建物構造) 鉄骨造平屋建

(建物面積) 71.15 m²

県補助

22,319千円

新居浜市

14,870千円

【所在地】 新居浜市船木字元船木甲3101番地1、甲3102番地2、
甲3098番地

【敷地面積】 4,552 m²

《特別養護老人ホームふたばの森》

(建物構造) 鉄骨造2階建

(建物面積) 1,903.82 m²

(定員) 29人

(補助)

新居浜市

177,975千円

《ショートステイふたばの森》

(建物構造) 鉄骨造2階建

(建物面積) 496.44 m²

(定員) 16人

《デイサービスセンターふたばの森》

(建物構造) 鉄骨造2階建

(建物面積) 287.4 m²

(定員) 30人

【所在地】 新居浜市船木字元船木甲2999番地7、甲3001番地3

【敷地面積】 999.37 m²

《グループホームふたばの森》

(建物構造) 鉄骨造2階建

(建物面積) 665.85 m²

(定員) 18人

(補助)

新居浜市

52,612千円

2.職員現員

ふたば荘

(平成26年3月31日現在)

職員部門	特養(ショート含)	デイサービス	支援・後見	居宅介護	合計
施設長	1				1
主任事務員	1				1
事務員	1				1
主任生活相談員	1				1
生活相談員	1	2〈1〉			3〈1〉
業務部長	1〈1〉				1〈1〉
機能訓練指導員	1	1〈1〉			2〈1〉
ソーシャルワーカー			1〈1〉		1〈1〉
介護支援専門員	1〈1〉			5	6〈1〉
介護部長	1(1)				1(1)
介護副部長	1				1
介護職員	35(6)【5】	6			41(6)【5】
医師(嘱託)	3(3)				3(3)
看護職員	5	2【1】			7【1】
栄養士	1(1)				1(1)
調理員	9【1】				9【1】
合計	61(11)【6】〈2〉	9【1】〈2〉	1〈1〉	5	76(11)【7】〈5〉
【業務委託】					
運転手		2			2
宿直員	3				3
介助員					
清掃員	1				1
合計	4	2			6

※ () 嘱託 【 】 パート 〈 〉 兼任

特別養護老人ホームふたば荘

1. 総務及び経理

1. 予算管理

平成26年度予算に関して、別紙決算書の通り予算を執行した。また、補正については、新会計への移行にともなう対応を行った。

2. 事務の効率化

- (1) 新会計基準への移行準備とし、新会計ソフトの選定及び購入した。
- (2) 労務関係の事務処理及び物品の発注業務については、随時対応できた。

3. 施設環境管理

- (1) 保守に関して、消防設備・水道設備・電機設備等を自主点検及び各専門業者により、定期保守点検を実施した。
- (2) 備品については、AED・貯湯式給湯器・事務パソコン1台・居宅パソコン1台の更新を行った。

4. 情報開示

事業計画・事業報告・決算状況等の情報公開を施設窓口で行うと共に、施設機関誌・施設ホームページを利用し、利用者、家族、関係機関に情報提供を行った。

5. 安全衛生対策

職員の安全衛生に関し、健康診断、インフルエンザ予防接種、検便検査を定期的に行うとともに、職員及び来荘者に対し来荘時の手洗い、うがいを励行して、冬期だけでなく毎日の感染症予防に努めた結果、罹患者は数名いたが流行には至らなかった。

6. 職員研修の充実

職員の資質向上、情報収集のため関係団体が主催する各種研修に積極的に申込み、多くの職員が参加した。また、内部研修も研修委員会を中心に計画を立て、多くの職員の参加を得て各種知識、技術の習得を図った。

2. 相談及び援助

1. 相談・援助

利用者の方からの相談・援助について

利用者や家族との信頼関係を築けるよう、直接また面会時や電話にて入所生活での希望などを伺い、各部署と協働して要望に迅速に対応できるように努めた。また、苦情相談についても、十分話を聞き、内容を把握・確認した上で、各部署の協力を得て解決にあたりると共にデータ化して再発予防に努めた。

2. 連絡・調整

利用者の生活や身体状況の変化については、必要時には家族へ連絡して状況報告を行い、受診希望等の家族の意見も伺いながらその都度対応した。

3. 利用者処遇

- (1) 利用者が要介護の高い状態になっても、継続して安心して生活が送れるよう支援を行った。
- (2) 利用者や家族から外出・外泊の要望があった際は、事故のないように送迎サービスを行った。
- (3) 医療機関等への入院中の方については、家族や医療機関と連携を図り、入院中の状態等を観察しながら、スムーズな退院に備えた総合援助を行った。
- (4) 事故防止については、リスク管理体制の整備を図り、危険因子の特定・評価を定期的に委員会にて行い、予防・再発防止に努めた。また、事故発生時には速やかに対処し、臨時の委員会を開催し再発防止案を講じた。
- (5) 苦情相談への対応については、その都度関係者により委員会を開催して状況把握、改善策を協議し、相談者への説明、謝罪を行うとともに再発防止策を講じた。
- (6) 看取り介護については、新規入所時に利用者及び家族に看取り指針の内容を説明し、家族に対して今後の方針を考えて頂ける材料として配付している。

また、看取りの開始前には、各職種協働でカンファレンスにて協議し、看取り介護計画を作成した後、家族へ説明、同意を得た。また、家族の意見・要望を聞き、実施し、最期まで人としての尊厳を保ちながら安らかな死が迎えられるよう援助を行った。また、死亡後は精神面を最重視しながら身辺整理等必要な家族支援を行った。

- (7) 利用者及び家族から知り得た個人情報については、個人情報に関する基本方針を十分理解し、守秘を徹底した。

4. 入退所

入所に際しては、事前に利用される方の情報を家族、居宅支援事業者、医療機関等から収集し、入所判定会議において各部署に子細に伝達して情報共有し、よりよいサービスの提供ができるように努めた。また、入所申込においては、介護の必要性や介護者等の状況を勘案し、緊急度の高い方から入所検討委員会の審議を経て優先的に入所して頂けるように努めた。

また、医療行為の継続が必要であったり、要介護状態ではなくなったため退所が必要となった利用者に対しては、利用者・家族と協議を行い、入院場所のSWや地域包括支援センターとも連携を取り、退所後の居場所の確保に努める事で、不安を取り除くための支援を行った。

5. その他

- (1) 6月と3月に家族会を開催し、家族の方に施設サービス状況や利用者の日常生活等の説明を行い、家族との連携を密にするとともに信頼関係を深め、意見・要望等をお伺いした。介護力向上の取り組みに対しても理解が得られるよう水分摂取における身体状況の変化や結果についても説明を行った。

また、介護保険報酬改定の際には、概要や料金の変更についても資料を作成し、説明するとともに同意を頂いた。

- (2) 利用者が地域の一員として地域住民、地元の学校関係、他福祉施設等との相互交流の場がもてるよう努めた。

- (3) 月に1度の介護相談員来荘時には、利用者と介護相談員との面談の中からも潜在的なニーズを発掘し、より良い施設生活を送っていただけるよう努めた。
- (4) 特養・ショートステイの稼働状況について、1日平均82.7床を目標としたが、平均80.6床と目標には届かなかった。入院者が増加したことに対して短期入所での空床利用では充足する事ができなかった。引き続き利用者の身体状況の把握や施設での治療対応に対して家族の理解を得ることに努めると共に新規の短期入所利用者の獲得に努める。

3.介 護

1. グループケアについて

すみれ、たんぼぼ、ひまわりの3グループが連携を図りながら、職員との馴染みの関係の中で安心して穏やかに過ごしていただけるように努めた。

(1) すみれ

「～心ふれあい笑顔咲く～」をスローガンに掲げ、取り組みを行った。

- ①利用者の方へ笑顔での対応を心がけた。その結果、職員との会話の中で明るい表情を見る機会が増え、会話の中から要望やニーズを聞くきっかけが多く作れた。
- ②色々な行事への取り組みを行ったが、参加出来る方が限定された。参加された方は以前のような職員主体ではなく、利用者の方主体で職員がサポートに回るよう心がけた。反面寝たきりの方へのアプローチが足りなかった反省が残る。
- ③関わり都度心身の状況の把握に努め、医務と連携の下、変化や異常に対応できた。
- ④3検や誤嚥予防の為に口腔ケアの状態を表記し情報共有する事に努めた。ただグループ間の情報共有はできたが、他グループへの伝達が不十分な点が見られた。
- ⑤本人、ご家族からの要望に関しては都度対応するよう前向きな姿勢で臨み、その思いに応えたいと努力したが、全ての要望に関しての対応はできず、対応する時にも時間がかかったり職員間の統一ができない時もあった。

(2) たんぼぼ

「笑顔で満足！共に感動！」をスローガンに取り組みを行った。

- ①常に笑顔で接し、側に寄り添い利用者の声や思いを傾聴し共感する事が出来た。結果として、多くの笑顔を引き出し、安心して生活してもらえる環境を作れた。しかし、業務優先になってしまった所もあったように思う。
- ②多く関わりを持つ事により、以前に比べ自分の思いや要望を職員に伝えてくれる利用者が増えた。家族・利用者の思いや、思いを伝える事が出来ない方の細かな表情の変化など、日々の関わりの中で感じた事や気付いた事を共有する事により、満足して生活してもらえる様に取り組めた。
- ③月1回のおやつ作りでは、利用者の食べたい物や季節感を取り入れた物を一緒に作り、食べることで楽しんでもらえた。
- ④荘内行事にはできる限り参加していただいた。行事を通して新たな気付きや利用者のその人らしさの発見に繋がった。外出や買い物などは、同じ利用者には偏ってし

まった。

⑤利用者の日々の様子を観察し関わりを多く持つ事で、変化にすばやく気づくように努めた。介護力向上に取り組む事で、離床時間が増え行事に参加出来るようになったり、夜間の良眠に繋げる事が出来た。また、他職種と連携しトイレでの排泄や歩行が出来る様になった人が増えた。

(3) ひまわり

「一人ひとりの思いを現実に～一人ひとりの残存機能の維持・向上～」をスローガンとし取り組んだ。

①利用者の要望に対しその都度対応はできなかったが、時間を作り外出（外食・買い物・一時帰宅・カラオケなど）する時間を設け個別行事を実施した。

②朝食前にコーヒーを入れる、利用者の好きな時間に好みの飲み物（コーヒー、お茶、バナナジュース、ヤクルトなど）を提供する、自販機で自分の飲みたいものを購入してもらうなどして、目標値1, 500cc以上の飲水量はほぼ確保できた。

③自分でできることでも職員にしてほしいという気持ちもあり、自立支援の難しさを感じた。過剰に介助してしまうことが多々あった。

④時間を優先し、利用者のペースに合わせた介助ができていないことが多かった。

⑤日々の細かい観察により、異常の早期発見・早期受診に努めた。総合記録シートの活用が不十分だった。

2. ケアプランについて

(1) 介護支援専門員を中心に、機能訓練指導員・管理栄養士・看護職員・生活相談員・担当介護職員が利用者一人ひとりの状況を確認した。協議の中で、参加して頂けた家族には意向を確認しながらプランを策定した。参加頂けなかった家族には、電話で意向を確認してプラン策定のための課題抽出の参考にさせて頂いた。

(2) ケアプランは、抽出された課題から将来どのような姿になる可能性があるか長期目標・短期目標を設定し具体的な介護内容を検討した。

利用者のニーズに応じ楽しみをプランに取り入れた。（買い物、外食など）

(3) 総合援助方針については、担当部署毎に関わり方について方針を打ち出した。

(4) 身体的精神的に落ち着かれている利用者のカンファレンスは基本半年に1回、身体状況精神状況に変化がある利用者には都度カンファレンスを開催した。

3. 食事について

(1) 職員や他の利用者と馴染みの関係の中でゆっくり食事が摂れた。

(2) 食前の口腔体操を各グループで実施し、食前の準備運動に心掛けた。

(3) お皿やスプーンなどを工夫して声を掛け見守ることで、少しでも自力摂取ができるよう工夫した。

4. 入浴について

(1) 各グループが協力し、グループを越えて少しでもゆとりのある入浴を実施できた。また、皮膚状態により入浴回数を増やした。

(2) 個人希望に合わせてゆっくりと入浴出来るように配慮し事故無く入浴が実施できた。

(3) 衣類の着脱時など本人の状況を見て、声を掛け見守ることで残存機能を生かす

ことができた。

(4) 希望入浴については、特に要望はなかった。

5. 排泄について

(1) プライバシー保護について徹底した配慮ができなかった面がある。

(2) 介護力向上の取り組みにより水分摂取量を上げ、トイレでの排便を支援する事
に取り組み一部効果が見られた。

6. 整容について

(1) 個人の要望に応じ整容、身だしなみに気を配った。(毛染め、ヘアースタイル)
しかし、日常では徹底した整容が出来ていない。

(2) ひげ剃り、爪切りなど不十分な面があった。

7. 資質向上について

(1) 新人職員に対する指導は実施できたが、定期的な評価の仕組み作りが出来てお
らず、適切な評価が出来なかった。。

(2) 利用者個別の要望を聞き入れて個別の処遇が統一できるようにオペレーショ
ンの取組を始めた。

(3) 研修会報告は内部学習会や職員会で発表し伝達した。

8. その他について

(1) 機能訓練指導員との連携で個人の残存能力を活用し、ケアプランに盛り込み実施評
価した。

(2) 看取り介護については他職種協働の上個室対応とし、家族と共に安らかな終末
を迎えていただけるように環境整備し、随時入室して状態確認した。

確認した状況は、医務などと情報共有して対象利用者が穏やかに過ごしていただ
ける配慮を行った。

(3) 感染症に対しては感染委員会を中心に都度カンファレンスをし、うがいや手洗
いの励行でインフルエンザ等の蔓延の予防に努めた。

(4) 新規利用者も入所当日から拘束衣・抑制帯を外しての入所とし、身体拘束0の
現状を維持した。

(5) 入院時にできた褥瘡についても、看護職員・栄養士との連携で褥瘡治癒ができ
た。また、離床の促進、高機能エアマット、体位交換、栄養面からの支援にて多職
種で取組み褥瘡0を目指した。

(6) 個人情報についての守秘義務を厳守した。

(7) 事故防止については都度ヒヤリハット、事故報告書を作成した。直近の朝礼で
報告して情報を共有し、事故の再発防止に努めた。

(8) 苦情、要望に対しては都度苦情委員会あるいは話し合う場を設けて、問題解決
に取り組んだ。

(9) 認知症の理解の為には、内部学習会や認知症実践者研修に参加した。また、介
護力向上研修会等外部研修出張報告を通して伝達することで資質向上に取り組ん
だ。

(10) ボランティアの方の協力を得て習字教室、お茶会、ホーム茶屋など実施でき
た。

4.機能回復訓練

1. 訓練内容について

(1) 機能訓練については、6か月毎に個別機能訓練計画書を作成し、ケアプランとの連動にて各職種が協働して実施した。尚、内容については本人、家族の同意が必要であるので協力をお願いした。(尚、個別機能訓練計画書の間接報告として3ヶ月毎にも訓練内容の説明を書面にて報告している。)

今年は、病院からの退院後にも検討会を実施しており、計画書の内容変更と共にご家族に計画書の内容変更の同意を依頼している。

(2) 近年、利用者が重度化、高齢化となり個別訓練自体が難しいケースが増えてきた。尚、新規入所時に個別訓練の依頼やかかりつけ医師からの指示箋により、訓練継続、または中止など入れ替えの課題を残している。

(3) 今年は、介護力向上との取り組みと協働で歩行訓練の助力として関わったが、現在中断しており、今後ケアプランなどのプランとして継続の課題を残している。

(4) 今後は、利用者の重度化に伴い、福祉用具の活用など積極的に進めていきたい。

5.健康管理

1. 健康保持について

① 重度利用者が増加する中、早期に体調の変化を把握し異常の早期発見や悪化防止に努めた。

② 利用者や家族の希望により専門医受診にもできるだけ対応するよう心がけた。

2. 褥創予防対策について

① 毎月評価を行い、ハイリスク者計画書を作成し、多職種協働体制の下、褥創ゼロを目指した。今後も連携を強化して一層の予防に努めたい。

② 特に低栄養による褥創発生防止のため、栄養ケアとも連携し予防・早期改善に努めた。

3. 感染予防について

2月23日にインフルエンザA型の発症がみられ7名の感染者が発生したが、感染の拡大することなく3月9日に終結した。今後より一層のマニュアル、うがい・手洗いの徹底に努める必要がある。

4. 看取り介護について

平成26年度は計6件の看取り介護を実施した。多職種協働で看取り介護計画を作成し、個人の尊厳と安楽に過ごせるよう援助に努めた。今後も本人、家族の希望により応えていけるよう努めていく

6. 食事の提供

1. 栄養ケアマネジメントの実践

利用者の低栄養状態を予防、改善するために他職種協働で栄養ケアを実践した。介護度が上がり、リスクも目立って良くはならないものの、一人ひとりの栄養状態は維持され、健康状態の急速な悪化を防ぐことができた。経口摂取困難者の増加もみられるが最期まで経口摂取ができるよう、口腔ケアや口腔体操、離床促進、食形態の工夫など他職種協働で実践し、効果も徐々に上がっている。

2. 食事サービスの充実

- (1) 経口摂取が維持できるよう食事形態の工夫を行い、摂食機能にあった安全な食事、やわらか食やソフト食を実施した。今後も工夫、改善をしながら、取り組む。
- (2) 毎月、バイキング食や野外食、外食等の行事食を実施し、楽しみのある食事を提供した。
- (3) 週5日選択食を実施し、希望に添える食事内容に努めた。
- (4) 味付けの工夫や、食欲をそそる盛りつけの工夫をし、食事意欲が高まる食事作りに努めた。
- (5) 個々に合ったテーブルや椅子を準備し、スムーズに食事ができる環境設定をした。

3. 介護力向上への取組み

水分補給を強化し、食事（常食）、ファイバー、オリゴ糖、ヨーグルトなどで自然排便を促し、緩下剤の使用を減量した。

4. 安全で衛生的な食事サービス

- (1) 食中毒、ノロウイルスの発生を防止するため、衛生管理の更なる徹底に努めた。
- (2) 温度管理、調理器具、調理室内の衛生管理に努めた。
- (3) 職員の衛生上の知識の向上と徹底に努めた。

7. 委員会活動報告

〔環境委員会〕

当委員会では、入所者が生活しやすい環境作り、面会者が気持ち良く訪れていただける環境作り、職員が業務に励みやすい環境作りを目指し、委員全員で企画立案し実施した。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間12回 出席延べ人数100名

2. 検討改善事項

(1) 奉仕デー年間計画案の作成、実施

奉仕デーの内容を年間を通して計画し、一年中美観を保つことを目的とし立案・実施した。また、奉仕デー当日の出勤者を前もって計画段階で担当箇所に張り付けて作業の効率化を図った。また、雨天が予測される時は前もって延期とし、外での作業を行えるようにした。

4月・5月・10月～3月 7:30～8:30

6月～9月 17:45～18:45

当日、出勤者（平均20名/1回）が参加した。

(2) ふたばガーデンの維持管理

7箇所ある花壇・居室周辺のテラスプランターの維持管理を委員で行い、四季折々の草花を利用者、面会者に楽しんでいただいた。

各担当花壇を決めていたが、管理をしていないことが多かった。

(作業行程) 5月15日～6月10日 春花撤去・土壌作り

6月15日～6月30日 夏花植え付け

10月20日～10月31日 夏花撤去・土壌作り

11月12日～11月20日 春苗植え付け

(3) 大型不要物等の廃棄処理

建物下倉庫の整理を実施し、大型不用物及び年数経過の書類を廃棄し倉庫として広く活用できる様に整理を行った。

(4) イルミネーション取付

恒例となったイルミネーションの点灯は、昨年同様玄関周囲のみに設置。

12月5日～12月26日迄点灯。利用者・来荘者に楽しんでもらうことができた。

(5) 南駐車場畑の活用

サツマイモやイチゴを収穫でき利用者も喜ばれた。

(6) ワックス掛け

今年度より、ワックス掛けと奉仕デーの日を分けて実施した。事務職員中心にテーブルの運び出しを行い、他の職員は部署毎の手伝いに回ることでスムーズに行う事が出来た。

(7) 美化活動

ゴミ捨て場の分別について、各委員を中心に徹底を図った。又、荘内の美化活動として喫煙ヶ所の徹底、駐車位置の指導等を随時実施。

昨年は週で担当を決めて、担当者を中心に荘内（正門、中庭、玄関前、地下駐車場周辺）の清掃を8：30～ 15分ほど実施していたが、担当者不在の時に掃除が出来ていないことや担当以外の参加が少ない事から、部署での当番制に変更して対応した。又、強風後、進入路周辺の掃除を必要に応じて臨時奉仕デーとして随時実施した。

(8) その他

施設内の時刻合わせを環境委員会後、委員を中心に確認を行った。

〔サービス向上委員会〕

平成26年度は、継続して介護力向上の取り組みを行うことにより、排泄や歩行、また常食化に向けて意識する内容となった。水分摂取については、利用者の自己負担もあり、昨年度と比較して大きく摂取量を上げる事ができたが、必ずしも排泄状況の大きな改善には至らなかった。来年度は研修会に不参加の予定であるが、取り組み自体は継続していき、少しでも成果を上げれるよう取り組んでいきたい。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／12回 出席延べ人数／143名

2. 委員会検討内容

- | | | |
|----|--|---|
| 4月 | … 介護力向上の取り組みについて／グループ長会の報告
入浴日以外の保湿について／自己負担の水分の記載について
外出時の買い物に関しての家族相談について／行事について（花見） | 他 |
| 5月 | … 介護力向上の取り組みについて／事故報告書のコピーについて
新たな男性部屋について／行事について（花見） | 他 |
| 6月 | … 介護力向上の取り組みについて／出張の行き方について
ショートステイの介護記録及び事故報告について
利用者管理の現金について／遠足の延期に伴っての予定について | 他 |
| 7月 | … 介護力向上の取り組みについて／家族に対する情報開示の方法について
マニュアルの見直しについて／入院者の増加について
居室変更の希望のある利用者について | 他 |
| 8月 | … ふたば荘夏祭りについて／身体拘束について
勤務体系について／行事（観月会）について | 他 |

- 9月 …介護力向上の取り組みについて／職員の言葉・態度について
売店について／看取り介護時の体温チェックについて 他
- 10月 …介護力向上の取り組みについて／褥瘡関係の計画書について
身体拘束の必要な利用者の検討について／ケアプラン日課表について 他
- 11月 …介護力向上の取り組みについて／口腔ケアマネジメントについて
地震発生時の避難訓練について／実習生の配置について
入院中の利用者の近況について／行事について（運動会・遠足） 他
- 12月 …介護力向上の取り組みについて／口腔ケアマネジメントについて
今後のサービス向上委員会の開催方法について
レグウォーマーの購入について／行事について（遠足・忘年会） 他
- 1月 …介護力向上の取り組みについて／口腔ケアマネジメントについて
行事について（忘年会・新年会について） 他
- 2月 …介護力向上の取り組みについて／口腔ケアマネジメントについて
居室変更について（体調不良に伴って）／家族会の開催について
行事について（節分・賀寿の祝い・とんど祭りについて） 他
他
- 3月 …介護力向上の取り組みについて／口腔ケアマネジメントについて
居室変更について（新規入所・看取り開始に伴って）
2月行事（賀寿の祝い）の反省／4月行事（花見）について 他

3. 今後の課題と取り組み

利用者の異常を早期に発見すると共に入院者の増加を防ぐ取り組みや職員間での連携が必要になる。また、来年度は介護報酬の改正もある為、状況に合わせた対応や可能な限りの加算への取り組みが必要になってくる。施設全体で利用者の事を考え、新しいことにも挑戦できるような意識を高めていきたい。

〔給食委員会〕

平成26年度は介護力向上における取り組みにあわせて、委員会においても水分補給や常食に向けての検討をおこない、栄養ケアの中で実践し、入所者一人ひとりの機能の向上に努めた。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／12回 出席延べ人数／118人

2. 個々の栄養ケアの充実

- ・身体計測の実施
- ・モニタリングの実施
食事形態・食事摂取状況・栄養補給・水分補給・体重増減・食欲不振等の検討
- ・栄養ケアの変更と実施

3. 自然排便への取り組み

- ・水分補給の種類を検討
- ・オリゴ糖・食物繊維の使用
- ・水分のトロミ調整の検討

4. 常食に向けての取り組み

- ・口腔機能のモニタリングを実施
- ・食形態の検討
- ・軟らか食の実施（肉類）
- ・離床、食堂での食事摂取の促進

5. 誤嚥、肺炎予防の取り組み

- ・口腔ケアの促進
- ・水分のトロミ調整の検討
- ・ソフト食の実施
- ・食事介助の方法

6. 毎月の行事食の計画と実施

- | | |
|-------------------|---------------|
| 4月…花見弁当・野外食（筍ずくし） | 10月…運動会弁当・野外食 |
| 5月…鯖会・母の日バイキング | 11月…紅葉バイキング |
| 6月…父の日バイキング | 12月…忘年会 |
| 7月…七夕バイキング・夕涼み会 | 1月…おせち料理・とんど祭 |
| 8月…夏ばて予防バイキング | 2月…賀寿の祝 |
| 9月…敬老会・お月見会 | 3月…ひな祭りバイキング |

7. 食中毒予防について

- ・食中毒予防の内部学習会参加
- ・手洗いの励行
- ・冷蔵庫内の整理整頓
- ・おやつ等の整理

8. 次年度について

- ・個々の状態を検討し、栄養ケアを早い対応で実施する。
- ・経口摂取機能が維持、向上できるよう口腔体操、口腔ケア、食形態の検討をおこなう。
- ・体調の安定、自然排便のための水分補給を実施する。
- ・新しい発想やアイデアを出し合い、入居者に喜ばれる食事を提供する。
- ・食中毒の予防と安全な食事を実施する。

- ・入居者の要望に応えられる活動をする。

〔広報委員会〕

当委員会では、施設の情報公開として、個人情報尊重しながら利用者の生活風景等を中心に荘内外への広報啓発活動に努めた。

特に広報誌「ふたばはあとねっと」については、2ヶ月を目安に発行し、家族や施設の関係者、地域の福祉関係者、船木の250世帯に配布した。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／6回 出席延べ人数／69人

2. 広報誌「ふたばはあとねっと」の発行

『ふたばはあとねっと 内容』

行事のお知らせ

- 7月発行 … 各グループの日常生活（すみれ・たんぽぽ・ひまわり）
デイサービスセンターだより
こんにちは厨房です
ふたば会決算報告書
新居浜市職員施設体験の感想
居宅（介護保険サービスのご案内）
行事のお知らせ
- 9月発行 … 各グループの日常生活（すみれ・たんぽぽ・ひまわり）
デイサービスセンターだより
こんにちは厨房です
医務室だより
ふたば荘事務所です
居宅（家庭ごみの持ち出しでお困りではありませんか）
行事のお知らせ
- 11月発行 … 各グループの日常生活（すみれ・たんぽぽ・ひまわり）
デイサービスセンターだより
こんにちは厨房です
医務室だより
ふたば荘事務所です
居宅（寝たきり老人等介護者への支援）
行事のお知らせ
- 1月発行 … 新年を迎えて（白石施設長）
各グループの日常生活（すみれ・たんぽぽ・ひまわり）

デイサービスセンターだより

こんにちは厨房です

医務室だより

ふたば荘事務所です

居宅（介護保険サービスを利用するには）

行事のお知らせ

3月発行 … 各グループの日常生活（すみれ・たんぼぼ・ひまわり）

デイサービスセンターだより

こんにちは厨房です

ふたば荘事務所です

地域ケアネットワークの紹介

行事のお知らせ

3. その他、荘内外活動状況報告

① 荘 内

美術館ロード（特養廊下）

- ・各月の行事の写真展示
- ・季節ごとの壁面デザイン（6回）
- ・ボランティアグループによる作品展示

② 荘 外

- ・ふたば荘夏まつり（盆踊り大会）にむけての啓発活動

7月11日～7月31日まで盆踊りポスター掲示（掲示場所）5箇所

平成26年度のふたば荘「はあとねっと」は、前年同様ふたば荘の良さをアピールすることを重点とし、写真や行事に参加された利用者の声を掲載することで、わかりやすい紙面作成を心掛け、ふたば荘での生活の様子を伝えることに努めた。しかし、5月号については発行する事ができず、1月号についても発行が遅れることになり、対外的にも迷惑をかける結果となった。また、ふたば荘夏祭りのポスターについても掲示場所が少なかった事もあり、集客には繋げる事ができなかった。

上記のことに注意し、平成27年度は広範囲に周知できるような取り組みや掲載内容の見直しを行い、広報活動の充実を図るよう努めたい。

〔研修委員会事業報告〕

平成26年度の研修委員会活動は、運営基準に基づき定期的な教育が必要な研修を主に年間予定をたて実施する。委員会活動は職員の資質向上を目指して研修会を開催し、研修の内容検討、研修会の選定、次回の課題などを検討した。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／7回 出席延べ人数／ 73名

2. 平成26年度内部学習会実施内容一覧

平成26年7月	「食中毒防止に関する研修」 参加人数36名	講師：栄養委員長
	「平成26年度介護力向上講習会報告会」 参加人数：49名	出張報告
9月	「認知症に関する研修」 参加人数：31人	出張報告
	「看取りに関する研修」 参加人数：25名	講師：看取り委員長
10月	「虐待に関する研修」 参加人数：41人（ふたばの森合同）	講師：外部講師
12月	第10回 施設内実践報告発表 ・胃ろうから経口摂取への挑戦 ・在宅から施設へ ・介護から快護へ ・認知症の方のBPSDに対するアプローチ ・介護力向上の取り組みを絡めた認知症改善に向けて	発表者：医務 発表者：居宅 発表者：デイ 発表者：介護（ひまわり） 発表者：介護（たんぼぼ）
平成27年1月	「褥瘡予防に関する研修」 「感染症対策について」 参加人数：37人	講師：褥瘡委員長 講師：感染委員長
2月	「老人施設のリスクマネジメント」 参加人数：32人	講師：外部講師
3月	「日本の高齢者福祉の動向」 「平成27年度介護報酬改定の説明会」 参加人数：37人（ふたばの森合同）	施設長 各事業者責任者

総評：

今年は、毎月実施していた内部学習会を縮小し運営基準に準じる研修を主に開催する。また、2年目の介護力向上講習会報告会を定期的で開催。特に今年は近年問題になっている虐待に関する研修について外部講師を招いて意義ある研修が実施できた。

本年は、実施回数が減少したため一年間を通して254名の参加人数がある。（昨年は479名の参加状況）部署毎の参加率は事務所97%、医務63%、栄養80%、介護50%、デイ84%、居宅32%となっており来期は参加率が上がる研修内容も踏まえて課題が残った。

3. 施設内実践報告の発表

今年で、10回目にあたるが、それぞれの部署、グループ別に研究課題を設け、1年間を通して実践した成果報告する施設内実践報告を12月に実施。（発表部署は5グループの部署とし、愛媛県、全国老人福祉施設大会の同じ形式を採用）

4. 今後の課題と取り組み

毎年、職員の資質向上を目指す研修は当然継続していかなければならないが、近年

利用者も重度化され、虐待問題や科学的介護の実践が課題事項となっている。
 来年度は口腔ケア実践研修、高齢者の薬物に関する研修を重点的に計画している。

〔事故防止委員会〕

26年度も介護事故発生の防止及び再発防止のための対策を検討する委員会として継続。構成メンバーについては、施設長、生活相談員、管理栄養士、看護職員、介護主任、介護副主任等幅広い職員の構成で各メンバーの責務、役割分担を明確にしつつ、事故発生の防止に努めた。今年もサービス向上委員会の中で、事故報告された事例を集計し、分析にて具体策の検討を加えていった。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／ 12回 出席延べ人数／ 143名

2. ふたば荘における事故・ヒヤリハットの報告

4月	事故報告15件	ヒヤリハット6件	短期入所者の事故・ヒヤリ	4件
5月	事故報告19件	ヒヤリハット2件	短期入所者の事故・ヒヤリ	1件
6月	事故報告15件	ヒヤリハット0件	短期入所者の事故・ヒヤリ	1件
7月	事故報告23件	ヒヤリハット3件	短期入所者の事故・ヒヤリ	1件
8月	事故報告18件	ヒヤリハット0件	短期入所者の事故・ヒヤリ	3件
9月	事故報告7件	ヒヤリハット1件	短期入所者の事故・ヒヤリ	6件
10月	事故報告13件	ヒヤリハット1件	短期入所者の事故・ヒヤリ	1件
11月	事故報告15件	ヒヤリハット1件	短期入所者の事故・ヒヤリ	1件
12月	事故報告15件	ヒヤリハット0件	短期入所者の事故・ヒヤリ	0件
1月	事故報告6件	ヒヤリハット0件	短期入所者の事故・ヒヤリ	3件
2月	事故報告14件	ヒヤリハット0件	短期入所者の事故・ヒヤリ	2件
3月	事故報告17件	ヒヤリハット0件	短期入所者の事故・ヒヤリ	4件
合計	177件	14件		27件

3. 今年の現状

前年度の事故件数171件、ひやりはっと32件、短期利用者の事故57件、今年度が事故177件ひやり21件、短期利用者38件から比較すると、今年は事故に関しては同件数。短期利用者の事故、ひやり報告は減少している。各部署間での連携、情報の共有不足などの要因が懸念される。また、利用者の重度認知症や重度化に伴って、事故後の対応として医療機関の受診年間12件、リスク管理の必要性を実感している。

(新居浜市介護福祉課への事故報告は2件提出。)

4. 今後の課題と取り組み

本年度も、施設内における事故発生の防止をするための基礎的内容など、適切な知識を普及・啓発し、利用者の安全管理を徹底する必要がある。特に利用者の外傷に関しては、適切な処置を実施し、家族への報告を通して理解を得る。

今後とも、リスクマネジメントの研修など定期的実施し、職員に周知徹底を図ること

が大切と考える。

〔褥瘡委員会〕

平成26年度、当施設において褥瘡が発生しない適切な介護を行うことができるように、その発生を防止するための対策を検討した。今後も要介護度が高くなり、褥瘡のリスクが多くなることが予測される。幅広い職種で構成することによって個々の責任割合、分担を明確にするとともに、具体的な予防対策、褥瘡の基本的知識の徹底や栄養面でのケア等に重点をおき、職員教育を浸透させるために施設内における学習会を実施した。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／12回 出席延べ人数／110名

2. 褥瘡者に対するケアと経過報告

4月…2名	10月…0名
5月…0名	11月…0名
6月…0名	12月…2名
7月…0名	27年1月…2名
8月…1名	2月…2名
9月…1名	3月…1名

3. ハイリスク者に対してのケアの実施と評価

4月…7名	10月…9名
5月…5名	11月…9名
6月…7名	12月…10名
7月…6名	1月…10名
8月…7名	2月…10名
9月…10名	3月…9名

4. 健康診断によるアルブミン値の評価（給食委員会にて検討）

4月低アルブミン者11名…給食委員会にて検討
10月低アルブミン者10名…給食委員会にて検討

5. 年1回の褥瘡委員会による研修

2月…第1回「施設での褥瘡者経過報告」 参加者37名

6. 年2回 K式スケールにて利用者の褥瘡発生予測の評価

4月 75名 評価 10月 75名 評価

7. 福祉用具の見直し…年2回実施、評価

8. 褥瘡状況と結果について

本年度の褥瘡発症者は、入所時又は退院時の持ち込み褥瘡者が多く治癒までに長期の治

療期間を要した。褥瘡者については、定期的な形成外科受診を行い医師から治療方法について細かい指示変更を受けて実施し、通常より早く完治となる事ができた。苦痛の緩和については圧迫、ズレ摩擦、湿潤、栄養拘縮され方のポジショニング毎日の介護、看護の継続にて褥瘡治癒への手助苦痛の緩和に努めた。

9. 今後の取り組みについて

加齢や基礎疾患により、ますます寝たきりの利用者が増えて褥瘡のハイリスク者は毎年増え続けている。入院治療後の身体レベルの低下に伴い、急速に悪化してしまう場合もある為、褥瘡発生をさせないようハイリスク者計画書作成、実施、記録、評価にてケアプランに取り入れ、毎月評価、状態観察を他職種と連携しながら継続して行く。褥瘡発生時には早期に専門医の診断を仰ぎ、早期治癒に向け対応するとともに、今後も学習会を行い、他職種の方の褥瘡予防や知識のレベルアップに努める。

〔保健・感染対策委員会〕

高齢者介護施設において、感染に対する抵抗力が弱い高齢者が集団で生活する場所の為、平常時から対策を実施し、発生時には迅速な対応が出来るように職員の意識レベルの向上を図り、感染症が発生した場合、その被害を最小限に抑えるように施設全体で取り組むよう努めます。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／ 23回 出席延べ人数／ 179名

2. 毎月の委員会検討内容（項目のみ）

- 4月・・・ MRSA 結果報告／ゴキブリの集計／利用者健康診断実施
- 5月・・・ MRSA 結果報告／ゴキブリの集計／ベッドマット消毒交換の実施
- 6月・・・ MRSA 結果報告／ゴキブリの集計／
- 7月・・・ MRSA 結果報告／ゴキブリの集計／
- 8月・・・ MRSA 結果報告／ゴキブリの集計／
- 9月・・・ MRSA 結果報告／ゴキブリの集計／利用者感染者一覧表配布
- 10月・・・ MRSA 結果報告／ゴキブリの集計／利用者胸部レントゲン
ベッドマット／消毒と交換実施
- 11月・・・ MRSA 結果報告／ゴキブリの集計／
利用者・職員インフルエンザワクチン実施／利用者の健康診断実施
- 12月・・・ MRSA 結果報告／ゴキブリの集計
空気の乾燥にて、各グループで気温と湿度管理に努める
インフルエンザ流行のきざし、全職員マスク着用

1月・・・ MRSA 結果報告／ゴキブリの集計／内部学習会「インフルエンザ感染拡大を防ぐために」「拭き取り検査による手洗い評価」37名参加

2月・・・ MRSA 結果報告／ゴキブリの集計／2/23インフルエンザ発生にて、施設内の感染拡大を遮断するため、臨時委員会開催する

3月・・・ 3月9日、職員会にてインフルエンザ終結の報告、インフルエンザのアンケートの実施する

3. 平成26年度の活動と結果について

冬期より、今年はインフルエンザの流行が早く、地域の感染状況に注意したり、利用者・職員のインフルエンザワクチン接種にて予防していたが、2月23日よりインフルエンザA型感染発生となる。利用者7名の感染発生が出たが、3月9日に終息し感染拡大を防ぐ事が出来、職員の感染意識レベルも向上に取り組む事ができた。

4. 平成27年度の取り組みについて

利用者が、安心して過ごして頂けるように、常に利用者の状態を観察し、変化に気づき早期発見と早期対応に努る。また、万が一感染が発生した場合は、施設全体で感染拡大を最小限に抑えるように委員会を開催し、感染源を遮断するよう全職員で取り組む。27年度は施設内の清潔を保ち整理整頓を心がけ、感染症の予防対策を推し進める。

[看取り委員会]

当委員会では、入所者が尊厳ある安らかな最期を迎えるために看取り開始時から他職種と連携した会を持ち、本人の意思、ならびに家族の意向を最大限に尊重して行ってきた。

1. 委員会の回数及び出席人数

年間／6回 出席延べ人数 54名

2. 看取りの実際

5月（5月 9日～5月12日）

7月（7月17日～7月19日）・（7月31日～8月31日）

10月（10月21日～10月25日）

12月（12月19日～12月23日）

3月（3月16日～3月27日）

3. 今後の課題と取り組みについて

日頃より家族とのコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていく。

施設での看取りの理念、死生観教育、終末期の身体的・精神的変化への対応など、看取りが適切に行われるよう職員教育を実施する。

看取りの計画通りに実施できたかどうかの評価を早い時期に行い次回に繋げていく。

8. 職員研修参加状況(特別養護老人ホーム)

月	日	内 容	場 所	出 席 者
4	16	愛媛県老施協 平成26年度第1回正副会長及び理事会	松山市	施設長
	23	愛媛県老施協 平成26年度第1回総会・施設長	松山市	施設長
	25	第1回東予老施協施設長研修会・総会	松山市	施設長
5	16	第1回介護力向上講習会【愛媛・高知分校】	松山市	施設長・業務部長・介護部長
	19~20	第10回愛媛県老人福祉施設大会	松山市	施設長・業務部長・看護部長・介護職員1名
	22	雇用管理責任者講習	市内	総務副部長
6	10~13	愛媛県認知症介護実践者研修	松山市	介護グループ長1名
	17	新居浜市福祉施設協議会 第1回職員スキルアップ講座	市内	事務員1名
	17	「福祉の職場」新任職員研修会	松山市	介護職員1名
	18	改正均等法施行規則・両立支援助成金等説明会	市内	生活相談員1名
	18	愛媛県老施協 平成26年度新会計研修会	松山市	施設長・総務副部長
	21	四国老人福祉学会第34回大会第1回実行委員会	西予市	施設長
	24	東予老施協 新任職員研修会	今治市	施設長・介護職員1名
	24~27	平成26年度愛媛県認知症介護実践者研修(第2期)	松山市	介護グループ長1名
	25	平成26年度第2回正副会長及び県社協懇談会	松山市	施設長
26	コーチング講座研修会	松山市	介護副部長・総務副部長	
7	8~9	第63回 四国老人福祉施設関係者研究大会	徳島県	施設長・介護職員1名・看護職員1名・調理員1
	15	平成26年度 第1回サービス向上研修会「相談・コミュニケーション技法」	松山市	生活相談員1名
	16	平成26年度特定給食施設等関係者研修会	西条市	栄養管理部長
	16	平成26年度松山大学・カルスポ公開講座	松山市	施設長
	16	平成26年度東予老施協第1回デイサービス直接処遇職員研修会	今治市	施設長・介護職員1名
	25	第2回介護力向上講習会【愛媛・高知分校】	松山市	業務部長・看護部長・介護職員1名
7	31~1	愛媛県老施協 平成26年度中予地区懇談会	松山市	施設長
	31	高齢者ソフト食講習会	市内	調理員1名
8	1	愛媛県アクティブシニア介護ボランティア協議会	西条市	施設長
	5	平成26年度サービス向上研修会第2回「ターミナル(看取り支援)」	松山市	看護部長
	5	認定調査員現任研修	市内	介護部長
	5	介護支援ボランティア事業説明会	市内	施設長・生活相談員1名
	5	平成26年度 施設ケアマネジメント研修会	松山市	介護副部長
	6	平成26年度 施設ケアマネジメント研修会	松山市	介護グループ長1名
	6	愛媛県認知症介護実践者研修	松山市	介護グループ長1名
	12	平成26年愛媛県認知症介護実践者研修	松山市	介護グループ長1名
	20	雇用管理責任者講習	市内	総務副部長
	24~27	平成26年度東日本大震災被災地交流・視察	福島県	総務副部長
9	2	東予老施協 生活相談員研修会	四国中央市	施設長・生活相談員1名
	4	東予老施協 事務職員研修会	市内	施設長・総務副部長
	5	公正採用人権啓発推進等研修会	市内	総務副部長
	8	平成26年度第2回21世紀委員会	松山市	施設長
	9	平成26年度 法人理事長研修会	松山市	施設長
	9	愛媛県経営協 平成26年度理事長研修会	松山市	施設長
	10	「福祉の職場」中堅職員研修会	松山市	総務副部長
	25	東予老施協 介護職員研修会	四国中央市	介護副部長・介護副グループ長2名
	26	第3回介護力向上講習会【愛媛・高知分校】	松山市	業務部長・生活相談員1名・介護職1名
29~30	平成26年度 四国カントリーミーティング	高知市	施設長・生活相談員1名	
10	2	愛媛県社会福祉大会	松山市	施設長・介護副部長
	7~10	愛媛認知症介護実践者研修	松山市	介護副グループ長1名
	8~9	全国老施協 タウンミーティング	松山市	施設長
	9	東予老施協 栄養士研修会	今治市	管理栄養部長
	16	東予老施協 介護の日 俳句大賞選定依頼	松山市	施設長
	20	平成26年度 第3回総務委員会	松山市	総務副部長
	21	東予老施協 機能訓練指導員研修会	市内	業務部長
28~30	第71回全国老人福祉施設大会	仙台市	施設長	

月	日	内 容	場 所	出席者
11	5	東予老施協 介護支援専門員研修会	今治市	介護副部長
	5	東予老施協 新任職員研修会	今治市	施設長
	5	特定給食施設等関係者研修会	西条市	栄養管理部長
	14	東予老施協 施設長と防災担当職員との合同研修会	今治市	施設長・総務副部長
	17	市福祉施設協議会 第2回職員スキルアップ研修会	香川県	生活相談員1名
	17~21	平成26年度認知症介護実践リーダー研修	松山市	介護グループ長1名
	18	第4回介護力向上講習会【愛媛・高知分校】	松山市	業務部長・栄養管理部長
	19	東予老施協 第2回介護職員研修会	四国中央市	施設長・介護職員2名
	20	東予老施協 調理員研修会	市内	施設長・調理員1名
25	愛媛県認知症介護実践者研修	松山市	介護副グループ長1名	
25~26	全国老人福祉施設研究会議(香川会議)	香川県	生活相談員1名・介護職員1名	
12	12	平成26年度サービス向上研修会第5回「社会貢献と地域の関わり」	松山市	施設長
	13	四国老人福祉学会第34回大会	西予市	施設長・介護グループ長1名
	19	平成26年度認知症ケア研修会	松山市	介護副グループ長1名
1	16	平成26年度 東予老施協看護職員研修会	今治市	看護部長
	27	第5回介護力向上講習会【愛媛・高知分校】	松山市	
	27	平成26年度認知症実践リーダー研修会	松山市	介護副グループ長1名
	31~2/1	平成26年度介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修会	松山市	介護副部長
2	5~6	四国老施協セミナー	松山市	施設長・総務副部長
	20	平成26年度認知症ケア研修会	松山市	介護グループ長1名
	21~22	平成26年度介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修会	松山市	介護副部長
	28	平成26年度東予老施協介護職員研修会	市内	介護副グループ長1名
3	5	平成26年度 第2回東予老施協施設長研修会・総会	今治市	施設長
	10	平成26年度 第2回愛媛県老施協総会・施設長研修会	松山市	施設長
	24	第6回介護力向上講習会【愛媛・高知分校】	松山市	業務部長・介護副部長・介護副グループ長1名

9. 事業実施状況

月	保健衛生	施設管理	施設整備等	職員厚生	その他
4	/30 職員検便(74名)	/2 奉仕デー /15 暖房停止 /22 倉庫整理		/11 お花見【歓送迎会】(85名)	
5	/31 職員健康診断(69名) /15 調理員検便(10名) /22 寝具納品 寝具引取	/14 奉仕デー			/9 はあとねっと発行 /16 避難訓練
6	/30 調理員検便(10名)	/12 消防設備点検 /4 空調設備清掃点検 /4 奉仕デー /4 全館ワックスかけ /15 冷房開始 /16 奉仕デー			
7	/31 調理員検便(10名)			/18 ビール会(43名)	/10 はあとねっと発行 /24 内部学習会「食中毒の予防に関する研修」 /29~31 新居浜ワークキャンプ(5名)
8	/29 調理員検便(10名)	/5 奉仕デー /8 受水槽立ち入り検査			/5~7 新居浜ワークキャンプ(5名) /15 船水夏祭り / 内部学習会「
9	/18 寝具納品 /25 寝具引取 /30 調理員検便(10名)	/3 奉仕デー /17 全館ワックスかけ /15 冷房停止			/10 はあとねっと発行 /24 内部学習会「看取りの研修会・認知症に関する研修」
10	/1~31 職員健康診断(25名) /24 結核レントゲン撮影(72名) /31 調理員検便(10名)	/8 奉仕デー			/22 内部学習会「虐待に関する研修」
11	/6~30 インフルエンザ予防接種(職員58名入居者74名) /28 調理員検便(10名) /14 入居者健康診断(75名)	/24 電気設備点検 /7 奉仕デー /15 暖房開始 /8 受水槽清掃			/26 総合避難訓練
12	/26 調理員検便(10名)	/3 奉仕デー /24 全館ワックスかけ	/12 事務・居宅パソコン各1台更新 /15 AED更新	/17 忘年会(88名) /17 永年勤続者表彰 (15年):1名 (10年):3名	/22 内部学習会「第10回施設内実践報告会」
1	/30 調理員検便(10名)	/7 奉仕デー /8 消防設備点検			/30 はあとねっと発行 /28 内部学習会「褥瘡予防に関する研修・感染防止に関する研修」
2	/27 調理員検便(10名)	/4 奉仕デー			/17 内部学習会「事故防止に関する研修」
3	/31 調理員検便(10名)	/4 奉仕デー 4/15 全館ワックスかけ	/31 貯湯式給湯器更新		/25 はあとねっと発行 /23 内部学習会「介護報酬改定に関する説明会」

特養利用者の概要

(1) 利用者の状況

平成27年3月31日現在

保険者別入所状況

保険者別	男	女	計
新居浜市	18	50	68
西条市	2	0	2
四国中央市	1	2	3
今治市	0	1	1
松山市	0	1	1
宇和島市	0	1	1
大阪市	0	1	1
合計	21	56	77

介護保険法施行後入所した利用者は内76名となっている。(旧措置者は1名である。)

在所期間の状況

期 間	男	女	計	比率(%)
20年以上	0	0	0	0.0%
15年以上～20年未満	0	0	0	0.0%
10年以上～15年未満	2	6	8	10.4%
7年以上～10年未満	0	5	5	6.5%
5年以上～7年未満	2	5	7	9.1%
3年以上～5年未満	5	7	12	15.6%
1年以上～3年未満	5	15	20	26.0%
1年未満	7	18	25	32.4%
合 計	21	56	77	100.0%

利用期間が3年未満の方で全体の58.4%を占め、全利用者の平均利用期間は3.1年となっている。

年齢構成

区分	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	合計	平均年齢
男	4	3	0	2	3	6	2	1	21	78.6
女	0	1	4	4	12	15	17	3	56	85.9
合計	4	4	4	6	15	21	19	4	77	83.8

①90歳以上の利用者は全体の29.8%を占めており、平均年齢は約83.8歳となっている。

②最高齢者は、男性96歳、女性99歳で、最も若い利用者は、男性59歳、女性69歳である。

要介護度の状況

〔要介護度〕

介護度	年齢区分	自立	支援	1	2	3	4	5	合計	平均
男性	40～64歳	0	0	0	0	1	2	1	4	4.00
	65～69歳	0	0	0	0	0	2	1	3	4.33
	70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	75～79歳	0	0	0	0	0	1	1	2	4.50
	80～84歳	0	0	0	0	0	3	0	3	4.00
	85歳以上	0	0	0	1	0	4	4	9	4.22
女性	40～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	65～69歳	0	0	0	0	0	1	0	1	4.00
	70～74歳	0	0	0	0	0	3	1	4	4.25
	75～79歳	0	0	0	0	2	0	2	4	4.00
	80～84歳	0	0	0	1	1	6	4	12	4.08
	85歳以上	0	0	0	4	6	12	13	35	3.97
	男性	0	0	0	1	1	12	7	21	4.19
	女性	0	0	0	5	9	22	20	56	4.02
	合計	0	0	0	6	10	34	27	77	4.06
	前年度実績	0	0	0	7	6	33	33	79	4.49

利用者の要介護度は、5に認定された方が全体の35.1%を占めており、平均要介護度4.06は全国平均(3.89)より高くなっている。また、前年度実績4.49より低くなっている。

(2)入退所状況

利用者状況

〔月別新規入所者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	3	1	1	1	3	1	1	1	1	0	1	14
女	3	1	2	2	0	0	0	0	2	0	2	2	14
計	3	4	3	3	1	3	1	1	3	1	2	3	28

〔入所前住居〕

区分	在宅	病 院			介護施設			その他施設	合計
		一般病棟	精神病棟	療養病棟	介護療養施設	老人保健施設	特別養護老人ホーム		
男	2	1	1	3	0	1	0	1	9
女	4	1	5	1	0	3	2	3	19
計	6	2	6	4	0	4	2	4	28

全利用者のうち78.5%の利用者の方が施設・病院等からの入所である。

〔新規利用者世帯状況〕

	単身	夫婦	未婚子同居	既婚子同居	その他	合計
男	5	3	0	1	0	9
女	9	2	1	5	2	19
計	14	5	1	6	2	28

退所者状況

〔退所理由〕

	家庭復帰	入院継続	転居	死亡(施設)	死亡(病院)	合計
男	0	0	0	3	4	7
女	0	1	2	16	4	23
計	0	1	2	19	8	30

〔月別退所者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	7
女	4	1	3	1	2	2	1	1	2	1	2	3	23
計	4	3	3	1	2	2	2	1	3	1	3	5	30

30名の方が退所となり、その内死亡による退所は27人となっている。

(3)日常生活動作状況・生活自立度・認知症の判定

日常生活動作の状況

〔利用者77名〕

項目	動作内容	男	女	計	項目	動作内容	男	女	計
移動	時間がかかっても介助なしに一人で歩く	3	5	8	入浴	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	3	4	7
	手を貸してもらするなど一部介助を要する	5	14	19		体を洗ってもらするなど一部介助を要する	7	25	32
	全面的に介護を要する	13	37	50		全面的に介護を要する	11	27	38
食事	やや時間がかかっても介助なしに食事する	10	17	27	着替	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	3	5	8
	おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	5	24	29		袖を通してもらうなど一部介助を要する	7	24	31
	全面的に介護を要する	6	15	21		全面的に介護を要する	11	27	38
排泄	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	3	5	8	整容	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	4	5	9
	便器に座らせてもらうなど一部介助を要する	10	27	37		タオルで顔をふいてもらうなど一部介助を要する	9	29	38
	全面的に介護を要する	8	24	32		全面的に介護を要する	8	22	30

食事以外は、一部もしくは全介助を必要とする利用者が多く、中・重度化の傾向がみられる。

日常生活自立度（寝たきり度）

[利用者77名]

	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。	
ランク J	1 交通機関等を利用して外出する。	0
生活自立	2 隣近所なら外出する。	0
	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。	
ランク A	1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。	18
準寝たきり	2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。	3
	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ。	
ランク B	1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。	12
寝たきり	2 介助により車椅子に移乗する。	23
	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。	
ランク C	1 自力で寝返りをうつ。	8
寝たきり	2 自力では寝返りもうたない。	13

寝たきりに当てはまるランク B・Cの利用者の方で全体の72.7%を占め、重度化が認められるが、昨年度の83.5に比べ占める割合は減少している。

認知症老人の日常生活自立度判定

[利用者77名]

項目	痴 呆 の 程 度	
正 常	認知症の症状無し	0
ランク I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	6
ランク II	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。	
	a 家庭外で上記IIの状態が見られる。	14
	b 家庭内でも上記IIの状態が見られる。	7
ランク III	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。	
	a 日中を中心として、上記IIIの状態が見られる。	26
	b 夜間を中心として、上記IIIの状態が見られる。	8
ランク IV	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。	13
ランク M	著しい精神症状や問題行動やあるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	3

77名の内、ランク III以上に位置づけされる利用者の方は64.9%となっている。

(4)ケアプラン実施状況

〔ケアプラン：立案状況〕

項目	水分	離床	食事	整容	排泄	生きがいづくり	声かけ コミュニケーション	吸痰	転倒予防
人数	11	11	79	1	17	7	5	4	1
項目	日常生活の援助	入浴	皮膚観察	医療面	姿勢保持	口腔	褥瘡 ハイリスク	運動	異常時の家族連絡
人数	16	1	5	22	16	79	3	16	17

①個々のケアプランはそれぞれ複数となっているが、その内、最も重要と思われるもの各1を挙げている。

②個々のケアプランについては、包括的自立支援プログラム方式により6ヶ月毎及び状態に応じケアカンファレンスにて見直し立案を行い、サービス計画に基づいて毎日実践し、その状況を記録している。

〔ケアカンファレンス：立案人数／家族参加状況〕

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
立案人数	12	14	20	23	20	19	13	14	11	27	16	18	207
家族数	2	5	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	12

ケアカンファレンス開催時12名のご家族が参加され、家族参加の割合は5.8%となっており本人やご家族の要望等を取り入れながらケアプランに反映させるよう努めている。

(5)利用者医療状況

疾病状況

順	疾病名	人数	順	疾病名	人数
1	便秘症	58	22	拡張型心筋症	2
2	高血圧症	30	23	器質性精神病	2
3	老人性認知症	29	24	総胆管結石	2
4	脳梗塞後遺症	24	25	慢性動脈閉塞症	2
5	脳血管性認知症	22	26	アルコール認知症	2
6	糖尿病	14	27	前立腺肥大	2
7	アルツハイマー病	13	28	膀胱結石	2
8	C型肝炎	10	29	イレウス	2
9	狭心症	9	30	低体温症	2
10	変形性膝関節症	7	31	てんかん	2
11	骨粗しょう症	6	32	胃潰瘍	1
12	鉄性貧血症	6	33	B型肝炎	1
13	知的障害	5	34	横紋筋融解症	2
14	心房細動	5	35	一過性精神障害	3
15	心不全	4	36	うつ病	4
16	排尿障害	4	37	緑内障	5
17	気管支喘息	4	38	乳ガン	6
18	慢性腎不全	4	39	肝膿瘍	7
19	パーキンソン病	4	40	甲状腺機能低下症	8
20	統合失調症	4	41	硬膜下血腫	9
21	変形性腰痛症	3	42	小児麻痺	10
			合 計		341

現在治療中の疾病について、1人で複数の疾病を持っている方が多く、特に高齢者の特徴とも言える習慣性の便秘症が最も多くなっている。

受 診 状 況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均
実人数	14	20	18	9	17	11	16	14	15	13	17	14	178	14.8	0.5
延人数	16	25	21	10	22	14	24	18	18	24	21	14	227	18.9	0.6

家族の要望での医療機関受診は、積極的に行っている。但し急変による心疾患と頭部疾患、骨折等は、当施設で対応困難である為、医療機関での治療をお願いしている。

入 院 状 況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均 入院人数
実人数	6	10	5	7	5	7	10	10	9	8	10	5	92	7.7	
延日数	66	84	83	73	78	66	179	264	144	99	144	85	1,365	113.8	3.7

状態の悪化により、本人や家族の希望で入院することがあるが、家族から終末を施設で迎えたいとの要望がある場合は、説明と同意を得てターミナルケアを実施している。

精 神 科 往 診

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2.0
実人数	30	30	30	27	25	27	16	17	17	16	15	15	265	22.1
延人数	24	25	26	22	21	25	22	24	26	20	20	24	279	23.3

精神科医の往診が月2回あり、認知症で周辺症状がある場合は、診察を受け、その診断を処遇に生かしている。

歯 科 往 診

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
回数	1	0	1	1	1	3	1	1	1	2	1	1	14	1.2
実人数	5	0	7	5	4	9	2	1	4	4	4	9	54	4.5
延人数	5	0	7	5	4	12	2	1	4	6	4	10	60	5.0

木曜日、歯科医師の往診を受け、検診と口腔治療をおもに行っている。

施 設 内 処 置 状 況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
内 服	実人数	65	60	74	75	77	68	70	70	71	72	70	74	846
	延べ人数	5100	4960	5640	5425	5394	5280	5022	5263	5316	5022	5396	5408	63,226
注 射	実人数	7	7	7	5	5	4	1	1	3	6	9	7	62
	延べ人数	14	61	20	20	24	9	20	1	7	18	19	20	233
インシュリン	実人数	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	18
	延べ人数	90	93	90	93	93	90	155	150	155	155	140	115	1,419
浣 腸	実人数	59	57	56	49	49	49	48	50	57	49	43	48	614
	延べ人数	180	164	120	118	104	129	116	114	138	147	146	139	1,615

高齢者の特徴である習慣性の便秘症が多く、浣腸の使用頻度が多くなっている。

現在、緩下剤内服調整で、浣腸使用の頻度を減らす方向で行っている。又、身体合併症（心疾患、高血圧症、e t c）で内服継続の利用者が増えている。

胃ろう造設も増え包交処置が多くなっている。 経管栄養者（胃ろう：14名）

また、看取りケアが増加し、点滴の実施が多かった。

(6) 身体拘束実施状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1. 車椅子拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. チューブ拘束	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
3. つなぎ服拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. ミトン型手袋による拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ日数	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4

今年も身体拘束ゼロについては、施設全体で取り組んでおり、身体拘束防止委員会を設置し、利用者の身体拘束を個別に検討し、福祉用具の導入や現在行われている介護を見直し、よりよいケアの実現を目指すよう努力している。委員会メンバーは・施設長・主任事務員・生活相談員・介護部長・介護副部長・看護職員・栄養管理部長・業務部長及び、グループ職員からの構成になっている。今年も病院入院時に常時ミトン手袋を使用されていた方を受け入れ、スキントラブルの解消に努め4日目で解除が可能になった事例がある。

尚、運営基準で利用者の生命又は身体を保護するため、緊急やむを得ない場合を除き、行動を制限する行為を行ってはならないと規定されており、身体拘束などを行う場合には、その対応及び時間、利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録しなければならない。また、その際は、利用者本人や家族に対して詳細な説明と十分な理解を得る必要がある。現在身体拘束は実施していない。

(7) 機能訓練実施状況

個別機能訓練を行うにあたっては、ケアプランと連動しながら個別機能訓練計画に基づき機能訓練指導員、看護職員、介護職員、生活相談員、その他の職種の者が協働して計画的に実施している。また、機能回復訓練のひとつに、作業療法士が担当するリハビリテーションがあるが、これは医療行為であるために医師の情報提供書、又はリハビリ訓練の指示箋が必要なので、骨折などで入院し、退院後も当施設で継続して訓練が必要な時、又は、新規入所時においても、在宅のリハビリを継続して希望されるときは、かかりつけ医の情報提供書、又はリハビリ指示箋に基づいて実施している。そして、個別機能訓練実施内容については、中間(3月毎)に直接、又は郵送にて本人、家族の方に説明している。

〔個別訓練実施内容〕

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
運動療法	実人数	15	15	15	14	15	11	12	14	17	17	16	15	176
	延人数	75	73	64	60	57	55	69	65	85	68	52	65	788
歩行訓練	実人数	9	10	11	11	10	8	10	11	13	13	10	11	127
	延人数	54	52	46	49	47	37	55	47	57	42	27	39	552
物理療法	実人数	16	16	16	15	16	12	13	15	17	17	16	16	185
	延人数	88	83	68	68	61	57	74	66	84	68	55	67	839
ADL訓練	実人数	14	17	16	15	17	11	13	15	17	17	16	16	184
	延人数	76	76	66	48	59	51	68	66	83	68	51	63	775

①脳血管障害等の後遺症、変形性膝関節症、老人性腰痛、慢性関節リウマチ等の慢性疾患に対し、個別に機能の改善及び維持に努めている。

②訓練内容として・・・

プラットフォーム、ベッドサイドでの徒手的な運動療法、歩行訓練、物理療法、作業療法を実施している。尚、グループケア導入により、個別重視で、個別訓練の時間、回数を増やし、ゆとりある対応、内容の充実で、口腔リハビリ、又ADL訓練の一環として、摂食訓練、排泄への移動訓練等にも取り組んでいる。

(8)グループケア実施状況

今年4月より質の高いケアを目指し、利用者のグループ編成（すみれグループ：31名 たんぽぽグループ：20名 ひまわりグループ：29名）や職員の勤務体制の見直しを図り、利用者と多くの関わりを持つことで家庭的な雰囲気、安心した生活が送れるよう個別ケアを行っている。

共通行事実施状況

実施日	行事内容	場 所	グループ別 参加利用者数			
			すみれ	たんぽぽ	ひまわり	計
4/5	お花見（昼食会）	ベランダ	5	6	22	33
7/1	七夕飾り	玄関ロビー	1	9	18	28
8/7	ふたば荘夏祭り	ふたば荘中庭	7	14	20	41
8/19	お盆の法要	ひまわりリビング	4	12	23	39
7/24	夕涼み会	ふたば荘中庭	7	9	16	32
9/3	100歳のお祝い	玄関ロビー	3	6	13	22
9/14	敬老会	デイサービスセンター	13	11	24	48
9/19	観月会	デイサービスセンター	8	11	22	41
9/23	お彼岸のお勤め	観音室	6	3	18	27
10/10	運動会	ふたば荘中庭	10	15	19	44
10/16	久保原太鼓見物	南側道路	7	10	17	34
10/18	御神輿来荘	ふたば荘中庭	7	13	22	42
11/4	秋の遠足	世田薬師	1	7	14	22
12/5	アザレアコーラス	デイサービスセンター	7	11	17	35
12/5	船木小学校来荘	ひまわり・たんぽぽリビング	4	11	14	29
12/12	忘年会	玄関ロビー	8	11	25	44
12/25	クリスマス会	デイサービスセンター	9	12	16	37
1/1	新年拝賀式	デイサービスセンター	8	21	19	48
1/5	初詣	船木神社	1	0	13	14
1/16	とうど祭り	ふたば荘中庭	8	0	23	31
2/3	節分（豆まき）	各グループ	15	11	23	49
2/8	賀寿の祝い	ふたば荘ロビー	15	12	22	49
合 計			154	215	420	789

クラブ活動 実施状況

(習字クラブ)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
すみれ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
たんぽぽ	5	2	4	4	3	1	3	0	4	4	3	3	36
ひまわり	19	20	23	15	29	29	32	18	24	20	16	11	256
合計	24	22	27	19	32	30	35	18	29	25	19	14	294

(お茶会)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
すみれ	1	2	3	0	0	0	0	2	5	0	5	1	19
たんぽぽ	11	9	7	3	0	0	7	8	8	8	8	7	76
ひまわり	17	17	16	14	0	20	18	18	15	16	22	15	188
合計	29	28	26	17	0	20	25	28	28	24	35	23	283

(ホーム茶屋)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
すみれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
たんぽぽ	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
ひまわり	15	20	22	22	20	0	18	17	15	17	0	22	188
合計	27	20	22	22	20	0	18	17	15	17	0	22	200

(どれみ広場)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
すみれ	0	0	0	0	0	4	0	0	0	2	1	4	11
たんぽぽ	18	16	16	13	16	17	15	15	17	13	12	14	182
ひまわり	18	19	21	20	21	20	20	18	21	19	16	19	232
合計	36	35	37	33	37	41	35	33	38	34	29	37	425

《すみれグループ》

(入浴実施状況： 2回/週)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
仰臥位入浴	184	170	128	186	146	164	164	161	168	163	123	164	1,921
座位入浴	0	7	16	27	24	14	26	23	33	36	25	32	263
自立補助入浴	18	33	24	17	17	39	30	21	18	27	15	26	285
自立入浴	25	12	18	18	24	9	13	16	19	22	12	14	202
シャワー浴	0	0	0	1	18	11	1	0	1	0	2	4	38
合計	227	222	186	249	229	237	234	221	239	248	177	240	2,709

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
お誕生会	3	1	2	2	0	2	4	4	0	5	3	1	27
外出(ドライブ・外食含む)	3	4	2	0	7	0	1	5	1	3	1	2	29
グループ行事	10	0	0	0	13	0	0	3	0	0	0	0	26
合計	16	5	4	2	20	2	5	12	1	8	4	3	82

《たんぽぽグループ》

(入浴実施状況：2回/週)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
仰臥位入浴	36	43	35	49	40	50	49	30	47	44	36	52	511
座位入浴	55	58	55	57	35	70	72	47	57	34	30	41	611
自立補助入浴	48	44	46	51	53	56	44	41	65	55	28	33	564
自立入浴	15	26	26	10	16	9	9	1	0	4	13	17	146
シャワー浴	6	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	17
合計	160	171	162	167	155	185	174	119	169	137	107	143	1,849

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
たんぽぽクッキング	0	14	18	14	0	16	0	20	18	0	0	0	100
ドライブ(外食を含む)	3	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	9	16
お誕生会	2	1	1	1	0	3	2	1	0	1	5	4	21
合計	5	15	19	15	0	19	4	21	20	1	5	13	137

《ひまわりグループ》

(入浴実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
仰臥位入浴	110	98	82	80	59	56	78	81	93	105	55	79	976
座位入浴	47	53	32	66	60	57	54	59	55	56	23	21	583
自立補助入浴	50	53	59	50	53	43	50	50	39	36	20	44	547
自立入浴	31	44	38	44	37	48	42	36	35	44	24	28	451
シャワー浴	0	0	6	0	8	0	0	0	0	0	0	0	14
合計	238	248	217	240	217	204	224	226	222	241	122	172	2,571

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ドライブ(お買い物・外食・映画を含む)	0	9	2	3	1	5	2	0	0	2	0	0	24
お誕生会	1	1	1	1	1	2	0	1	0	3	6	6	23
合計	1	10	3	4	2	7	2	1	0	5	6	6	47

面会・外出(家族要望による)・外泊状況

月/項	面 会		外出 人数	外 泊	
	利用者	人数		人数	泊数
4月	146	211	0	0	0
5月	173	249	1	0	0
6月	174	246	1	0	0
7月	163	225	0	0	0
8月	177	284	2	0	0
9月	173	256	0	0	0
10月	189	270	2	0	0
11月	193	282	0	0	0
12月	202	297	1	0	0
1月	140	238	0	0	0
2月	137	220	1	0	0
3月	165	278	0	1	1
合計	2,032	3,056	8	1	1
月平均	169.3	254.7	0.7	0.1	0.1

①毎月約169.3名のご家族の面会があり利用者の方にとっては、ご家族の方々の面会を楽しみにされている。

②外出について、通院及び季節行事は除いている。

給食栄養状況

栄養ケアマネジメントの実施により、一人ひとりの栄養ケアプランが十分に実施されるよう、他職種協働で取り組みを行い、利用者の個別性に対応している。

栄養ケアマネジメント

月	ケアマネジメント実施数 (人)	低 リスク	中 リスク	高 リスク	リスク 未定	合 計
4月	78	44	30	4	3	81
5月	77	19	46	12	3	80
6月	80	42	33	5	2	82
7月	75	35	36	4	5	80
8月	76	39	33	4	4	80
9月	75	42	32	1	5	80
10月	75	40	35	0	5	80
11月	75	24	41	10	5	80
12月	77	44	30	3	3	80
1月	80	41	36	3	1	81
2月	78	40	35	3	2	80
3月	76	38	32	6	4	80
合 計	922	448	419	55	42	
月平均	76.8	37.3	34.9	4.6	3.5	

栄養ケアマネジメントによる一人ひとりへの細かいプランを立て実施している。特に大きな変動はなく、栄養状態の安定と維持ができています。

食事の状況

	主 食					副 食				
	普通	握食	粥食	流動	経管	普通	刻食	ミキサー	流動	経管
居 室	7	1	17	3	10	10	4	10	3	10
食 堂	18	10	13	0	0	29	8	5	0	0
合 計	25	11	30	3	10	39	12	15	3	10

食形態において主食に於ける普通食は全体の45.5%、副食に於ける普通食49.4%、きざみ食15.2%、ミキサー食19.0%、流動食3.8%、経管12.6%

行事食の献立状況

月 日	行 事 名	献 立
4/25	野外食	筍ご飯、魚の塩焼き、筍とわらびの煮物、筍のてんぷら、木の芽和え、若竹汁、メロン
5/23	母の日バイキング	にぎり寿司、鯛の塩焼き、グリーンピースの卵とじ、みぞれあえ、茶そば、果物盛り合わせ
5/18	鯖会	ピース飯、鯖の刺身、炊き合わせ、清し汁、パイナップル
6/13	父の日バイキング	おむすび、ローストビーフ、じゃこてん、焼き鳥、お好み焼き、かに酢、清し汁、メロン
7/8	七夕バイキング	冷やしそうめん、巻寿司、いなり寿司、押し寿司、鮎の塩焼き、春巻き、なすのみそ田楽、酢の物、フルーツポンチ
8/23	バテ解消バイキング	ピース飯、巻き寿司、いなり寿司、焼き鳥、魚の磯辺揚げ、ウインナー、野菜の煮物、春雨の酢の物、茶そば、すいか、メロン、オレンジ、大学芋、清し汁
8/26	夕涼み会	流しそうめん、おむすび、バーベキュー、みぞれ和え、すいか、ところてん
9/14	敬老会祝い膳	巻き寿司、鯛の塩焼き、煮しめ、かきフライ、かに酢、メロン、上生菓子、清し汁
9/19	観月会	いも炊き、巻き寿司、鶏唐揚げ、みぞれ和え、ぶどう
10/31	野外食	ロング巻き寿司（7m）、魚の唐揚げ、さつまいもの煮物、なます、とろろ汁、柿
11/28	紅葉バイキング	ちゃんちゃん焼き、芋ごはん、じゃこ天、焼き鳥、かに酢、フルーツゼリー
12/12	忘年会	巻き寿司、刺身、かにつめフライ、筑前煮、イクラの酢の物、清し汁、フルーツ盛り合わせ、抹茶ようかん
1/1	おせち料理	赤飯、ブリの照り焼き、紅白かまぼこ、伊達巻き、巻昆布、黒豆、きんとん、田作り、菊花かぶ、メロン、上生菓子、雑煮
1/23	新春バイキング	寄せ鍋、親子寿司、かにつめフライ、焼き鳥、酢の物、フルーツ盛り合わせ
2/8	賀寿の祝い	巻寿司、鯛の塩焼き、エビフライ、炊き合わせ、かに酢、清し汁、メロン、イチゴ、オレンジ
3/31	寿司バイキング	にぎり寿司、巻き寿司、手鞠寿司、押し寿司、エビフライ、カボチャの煮物、ぬたあえ、赤だし、フルーツポンチ

① 1日：朔日メニュー ・ 祝日メニュー

② 選 択 食・・・・・・月～金（昼食に実施）

短期入所生活介護の利用状況

	人数	延日数	1日平均
4月	20	177	5.9
5月	23	202	6.5
6月	19	183	6.1
7月	17	139	4.5
8月	17	211	6.8
9月	21	183	6.1
10月	16	172	5.5
11月	21	181	6.0
12月	21	165	5.3
1月	20	159	5.1
2月	16	109	3.9
3月	18	144	4.6
合計	229	2,025	
月平均	19.1	168.8	5.55
前年度実績	197	1,896	
前年度比	116%	107%	

短期入所は定員4名であるが、1日平均4名を超えている月は入院者の空きベッドを利用して対応させていただいている。

社会福祉法人減免

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	37

社会福祉法人減免として生活困難な利用者に対し、利用料の減免措置を行っている。

減免対象者の範囲

1. 老齢福祉年金受給者
2. 市町村が生活困難と認めた場
3. 対象年収が42万円以下の方

家族会の状況

実施日	参加家族数	参加人数
平成26年6月15日	31	42
平成27年3月15日	20	35

《第1回目》

- ①平成25年度事業報告について
- ②平成26年度事業計画について
- ③介護力向上の取り組みについて
- ④グループケアへの取り組み状況報告
- ⑤職員と家族との個別面接の実施、利用者の方の個々のケアプランの立案経過を報告する

《第2回目》

- ①平成27年度介護保険改正の概要について
- ②平成27年度宝珠改訂及び利用料金変更について
- ③平成26年度第1回家族会アンケート集計結果について
- ④グループケアへの取り組み状況報告
- ⑤職員と家族との個別面接の実施、利用者の方の個々のケアプランの立案経過を報告し、家族の同意を得て署名・捺印をいただいた。
また、料金改定に伴う相違書に署名・捺印を頂いた。

ボランティア活動実施状況

月日	ボランティア名	人員	内 容	月日	ボランティア名	人員	内 容
4/1	ボランティア愛	1	習字	10/7	ボランティア愛	1	習字
	ふたば荘OB	1			ふたばクラブ21	1	
4/4	ふたばクラブ21	1	傾聴	10/16	ふたばクラブ21	1	傾聴
4/15	ふたば荘OB	1	お茶会	10/18	ふたばクラブ21	4	太鼓台見物
4/22	ふたばクラブ21	1	ホーム茶屋	10/25	ボーイスカウト新居浜	3	車椅子点検
4/23	ふたばクラブ21	10	お楽しみ会	10/28	ボランティア愛	3	習字
4/25	ふたば荘OB	6	習字	11/7	ボランティア愛	2	習字
4/26	ボーイスカウト新居浜	7	車椅子点検		ふたばクラブ21	2	
5/1	ボランティア愛	2	習字	11/15	ボーイスカウト新居浜	5	車椅子点検
5/2	ふたばクラブ21	1	傾聴	11/18	ふたば荘OB	1	お茶会
5/6	ボランティア愛	4	習字		ふたばクラブ21	1	
5/20	ふたば荘OB	2	お茶会	11/25	ふたば荘OB	4	習字
5/27	ふたばクラブ21	3	習字	11/26	ふたばクラブ21	1	傾聴
	ふたば荘OB	1		12/2	ふたば荘OB	3	習字
5/28	ふたばクラブ21	8	傾聴		ふたばクラブ21	1	
5/31	ボーイスカウト新居浜	3	車椅子点検	12/5	アザレアコーラス	11	コーラス
6/6	ふたばクラブ21	3	習字	12/16	ボランティア愛	2	お茶会
6/20	ふたばクラブ21	3	傾聴		ふたばクラブ21	1	
6/21	ふたばクラブ21	1	傾聴	12/17	ふたばクラブ21	1	傾聴
6/24	ボランティア愛	2	ホーム茶屋	1/6	ボランティア愛	2	習字
6/24	ボランティア愛	3	習字		ふたばクラブ21	1	
6/27	ふたばクラブ21	8	傾聴		ふたば荘OB	1	

6/28	ボーイスカウト新居浜	6	車椅子点検	1/20	ふたば荘OB	1	お茶会
7/4	ふたばクラブ21	4	傾聴		ふたばクラブ21	1	
7/4	ボランティア愛	3	習字	1/23	ふたば荘OB	1	習字
7/5	ふたばクラブ21	2	傾聴		ふたばクラブ21	1	
7/15	ふたばクラブ21	1	傾聴	1/28	ふたばクラブ21	2	お楽しみ会
7/15	ふたば荘OB	2	お茶会	2/13	ふたば荘OB	3	習字
7/18	ふたばクラブ21	1	傾聴		ふたばクラブ21	1	
7/22	ボランティア愛	3	お茶会	2/20	ボランティア愛	1	お茶会
7/25	ボランティア愛	6	習字		ふたばクラブ21	1	
7/26	ボーイスカウト新居浜	5	車椅子点検		ふたば荘OB	1	
8/1	ふたばクラブ21	1	傾聴	3/14	ボーイスカウト新居浜	5	車椅子点検
8/7	ふたばクラブ21	15	ふたば荘夏祭り	3/17	ふたば荘OB	2	お茶会
	ボランティア愛	3			ふたばクラブ21	1	
	船木青少年育成	20		3/20	ボランティア愛	1	お茶会
	伊予銀行	18			ふたばクラブ21	1	
8/23	ボーイスカウト新居浜	1	車椅子点検		ふたば荘OB	1	
8/26	ふたば荘OB	6	習字	3/24	ふたば荘OB	2	習字
9/3	ボランティア愛	2	習字		ふたばクラブ21	1	
9/5	ふたばクラブ21	2	傾聴				
9/13	ボーイスカウト新居浜	7	車椅子点検				
9/14	ふたばクラブ21	13	敬老会				
9/16	ふたばクラブ21	1	お茶会				
合 計						273	

3月末まで延べ273名のボランティアの方々が訪問し、行事・清掃等を実施していただいた。
ふたばクラブ21のボランティアについては、各自の都合に合わせて個別で来荘して頂く方法となった。

実習活動実施状況

実習期間	内 容	人員
9/5～10/7	四国中央医療福祉総合学院	2
12/12	シルバー人材センター	4
12/16	シルバー人材センター	3
12/9	市役所研修	3
1/28～1/30	新居浜商業高等学校	2
2/2～3/5	四国中央医療福祉総合学院	2
2/9～2/13	京都女子大学	1
2/23～2/27	愛媛学園	2
合 計		19

施設見学

日時	内 容
H26.4.10	一般 1名
H26.4.29	一般 2名
H26.5.26	一般 1名
H26.8.24	一般 1名
H26.10.2	一般 2名
H26.10.13	一般 1名
H26.12.14	一般 1名
H27.3.10	一般 2名
合 計	11名

10. デイサービスセンターふたば荘

平成26年度デイサービスセンターでは、要介護・要支援状態となった方々に個々の処遇改善に努め、できる限り在宅での生活を維持出来るよう、楽しみながら取り組める運動プログラムや外出提供をし、身体面の活動性を向上させることを中心に取り組みました。また、できる限り利用者、家族、居宅支援事業所の要望に柔軟に応じていけるよう取り組んできました。

平成27年3月31日現在

利用者状況 通所介護・通所予防介護を含む

1. 要介護度別登録者

要介護度	65~74		75~79		80~84		85~89		90~94		95~99		100~		合計	
	計		計		計		計		計		計		計		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要支援1							1		1						2	
								1	1						1	1
要支援2			1		3		4		2						10	
				1	1	2	2	2	1	1					4	6
要介護1					5		1		1		2		1		10	
						5		1	1		1	1		1	2	8
要介護2	2						3		4						9	
		2						3	1	3					1	8
要介護3					2		2		3						7	
						2	1	1		3					1	6
要介護4									2		1				3	
										2		1				3
要介護5																
合計	2		1		10		11		13		3		1		41	
		2		1	1	9	3	8	4	9	1	2		1	9	32

※平均年齢：86.8歳（男性88.5歳 女性86.7歳）で最高齢者は、男性で95歳、女性で101歳。

□平均要介護度：要介護2.13【25年度は2.39】

職員研修参加状況

利用者の皆様に、よりよいサービスが提供できるよう職員も各種研修に積極的に参加した。

月	日	内 容	場 所	出席者
H26 7	15	平成 26 年度第 1 回デイサービス直接処遇職員 研修会	松山市	生活相談員
7	16	平成 26 年度第 1 回東予地区老人福祉施設協議 会デイサービス直接処遇職員研修会	今治市	介護職員
11	15	第 2 回デイサービス直接処遇職員研修会	西条市	介護職員
11	25 26	全国老人福祉士施設大会	高松	生活相談員
H27 1	19	平成 26 年度第 2 回デイサービスセンター職員 研修会	松山市	生活相談員
1	27	レクレーション・リーダー養成講習会	松山市	介護職員

平成26年度デイサービスセンター主な行事報告

主な行事		実施計画
4月	お花見	主に桜の花見ドライブに出かけました。行き先は土居の変電所、広瀬公園、山田あじさいロード、国領川河川敷、山根公園。各方面の桜見物ができ楽しめました。
5月	バラ見物	屋外の歩行訓練を兼ねて山根公園へバラ見物に出かけました。公園に遊びに来ていた子供とふれあうこともあり地域機の人との交流もありました。
6月	菖蒲、紫陽花見物	池田池の紫陽花、菖蒲見物。山田あじさいロードへの紫陽花見物に出かけました。車内からの見物でしたが、大変喜ばれ満足された様子でした。
7月	七夕飾り	笹飾りの作成、短冊に願い事を書きました。
8月	屋台村	デイサービスの夏祭り行事。童心に返り縁日の雰囲気を楽しんでいただきました。祭りの最後にはジャンケン大会をして、大いに盛り上がりました。
9月	運動会	紅白に分かれ、団体・個人競技に参加して頂きました。普段あまり動かない方も参加することができ楽しめました。
10月	新居浜太鼓祭り	お祭り集会へ参加をしました。送迎途中に太鼓が見ることもでき、楽しめました。
11月	紅葉見物	別子ライン、山根公園へ紅葉見物に出かけました。
12月	忘年会	忘年会にて、職員の演芸を観ていただいたり、利用者にもカラオケを歌ってもらい、一年の締めくくりとして楽しんで頂いています。
1月	初詣・とうど焼き	船木神社へ初詣に出かけました。。
2月	賀寿の祝い・豆まき	「賀寿のお祝い」にて対象となる利用者のお祝いをし、節分（豆まき）として職員が変装した赤鬼・青鬼に新聞紙の豆（ボール）をぶつけて楽しんで頂きました。
3月	梅見物	梅見物に出かけました。また、下旬からは気候も良かったのでドライブをしました。

・月次行事

習字	小笠原先生指導の下、習字に参加されました。中には習字が苦手な人もいましたが、手のリハビリになるということで一所懸命励まれていました。
フラワーアレンジ	季節の花を感じながら思い思いに作成されました。男性利用者も参加され楽しまれていました。作品を校区の文化祭に無料配布し地域の皆様にも喜ばれました。
どれみ広場	月に1度、先生が来られ、懐かしい歌やリズムに合わせて体操をして過ごされています。職員の寸劇も楽しみの1つとなっています。
回想法	昔の風景、道具等の写真を見て昔の思いで話で弾めました。また、紙芝居も取り入れ、駄菓子を食べながら紙芝居を楽しまれました。
おやつ作り	簡単な作業を利用者に手伝ってもらいながら実施しました。自分で作る楽しみや他の利用者に食べて頂く喜びを感じられました。

【平成26年度デイサービスセンター利用状況(月別)】

	平成26年				平成27年				合計				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月	1月	2月	3月
前月末 サービス利用人員	48	45	46	48	47	49	48	45	45	45	43	44	553
新規 サービス利用人員		2	1			1			1		2	2	9
月末 サービス利用人員	45	46	48	47	49	48	45	45	45	43	44	43	548
月間 運営日数	26	27	25	27	26	26	27	25	25	24	24	26	308
月間 利用実人員	45	46	48	47	49	48	45	45	45	43	44	45	550
月間 利用延人員	476	473	487	529	543	544	509	473	474	429	407	449	5793
1日平均利用人数	18.3	17.5	19.5	19.6	20.9	20.9	18.9	18.9	19	17.9	17	17.3	18.9
要支援1	13	24	31	37	33	27	36	28	22	20	11	11	293
要支援2	56	41	39	51	45	58	58	58	65	63	72	78	684
要介護1	181	168	153	160	177	154	154	125	112	109	106	94	1693
要介護2	56	86	102	109	120	147	130	123	142	-123	105	158	1401
要介護3	80	49	63	80	79	73	49	83	82	77	74	74	863
要介護4	71	84	80	62	69	54	55	32	38	37	39	34	655
要介護5	10	13	10	21	12	31	27	24	13				161
入浴情報(延べ)	379	383	398	438	443	448	393	368	366	339	314	354	4623
一般浴	370	380	382	422	425	427	381	345	350	317	293	341	4433
リフト浴	9	3	16	16	18	21	12	23	16	22	21	13	190
食事情報(延べ)	475	473	487	529	539	544	509	473	472	429	407	445	5782

1.1.配食サービス事業

※配食サービス：新居浜市委託事業として要介護認定の有無に関係なく独居及び高齢者のみの世帯で食事の準備の困難な方、及び日中独居と同様な状態になるなど現に食事の準備に困難をきたす場合を対象として、1人につき1日1食を週に6回まで（月～土）に配食している。

利用者	19名 (平成27年度 3月末日現在)
配食年間利用	2,019食
配布先	船木4食 角野1食 泉川8食 中萩4食 多喜浜1食 庄内1食

月別利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	対前年度比
月間配食数	201	197	180	188	171	183	168	144	141	140	145	161	2019	2009	100.5%
稼働日数	21	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	302	308	98.1%
利用実人数	18	19	19	20	19	21	19	18	18	19	19	18	227	221	102.7%
1日平均	9.6	7.2	7.2	7.0	6.6	7.0	6.2	5.6	5.9	5.8	6.0	6.2	6.7	6.5	101.5%

12. 在宅介護支援センター

新居浜市地域包括支援センターが行う総合相談支援業務及び権利擁護業務に協力をした。

在宅介護支援センターは次に定める事業を行うものとした。

1. 総合相談支援業務

- (1) 初期段階での相談対応
- (2) 継続的・専門的相談対応

- ◇ 上記項目に対する相談延べ件数は、67件。実人数は52人であった。
- ◇ 毎月第三火曜日の午後に、新居浜市役所内において「地域包括支援センター協力機関連絡会（通称：ランチ連絡会）」を開催し、市内の各在宅介護支援センターならびに地域包括支援センターとの連携の実施に努めた。

2. 権利擁護業務

- (1) 成年後見制度の活用促進
- (2) 高齢者虐待への対応

- ◇ 成年後見制度の活用促進については「成年後見センター」に業務を委任。

「地域ケアネットワーク推進協議会の開催」

- ◇ 船木地域ケアネットワーク推進協議会・泉川地域ケアネットワーク推進協議会を開催した。マップづくりに取り組む狙いは以下の通り。

船木地域ケアネットワーク推進協議会

月日	場所	人数	内容
8月11日	ふたばの森	31人	・地域包括ケアシステムについて（DVD学習） ・地域包括ケアシステムについて（説明） 地域包括支援センター所長 高橋靖志 氏
12月2日	ふたばの森	41人	・高齢者マップづくり
2月24日	ふたばの森	40人	・「生活困窮者をどう支える？」（DVD学習） ・生活困窮者自立支援について（説明） 新居浜市社会福祉協議会 柿木 氏

泉川地域ケアネットワーク推進協議会

月日	場所	人数	内容
3月31日	泉川公民館	40人	・新居浜市の高齢者福祉施策の動向 新居浜市介護福祉課課長 藤田憲明 氏

「配食サービス利用者アセスメント業務」

- ◇ 船木校区・泉川校区の独居高齢者および高齢者夫婦世帯に対して心身の状況確認を行った。

13. 成年後見センター

1. 基本事業

成年後見センターは、被後見人の財産管理と身上監護を中心とし、被後見人等にとって必要であると認められる場合には、次に定める項目を代理権を用いて行った。

成年後見制度は精神上的の障害（知的障害、精神障害、認知症など）により判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を付けてもらう制度。

- ・財産の管理に関する事項
- ・金融機関との取引に関する事項
- ・定期的な収入の受領等に関する事項
- ・生活費の送金等に関する事項
- ・相続に関する事項
- ・保険に関する事項
- ・証書等の保管等に関する事項
- ・介護契約その他の福祉サービス利用契約等に関する事項
- ・住居に関する事項
- ・医療に関する事項
- ・紛争の処理に関する事項

- ◇ 成年後見人等として審判があり、実際に後見活動を行っているのは10件。
- ◇ 平成25年度中に審判が下りた事件が2件、後見終了した事件が0件。
- ◇ 被後見人の日々の支払業務手続きのために金融機関や入所施設への支払手続きを行う。
- ◇ 後見の受任をする以前の相談として、多く寄せられるのは高齢者・障害者の分野を問わない経済的虐待に絡む相談。

14. 指定居宅介護支援事業所

居宅介護支援の提供

- ◇ 利用者や家族の意見・意向をふまえ、一人一人の状況に応じた適切なケアプラン作成を実施した。また、市内の在宅福祉サービス事業者等と連携を図り、利用者及び家族のニーズに合わせたケア目標を作成して支援をおこなった。

利用者担当件数

- ◇ 病院などの関係機関を定期的に訪問して新規利用者の受け入れ体制を整えた結果、新規依頼の連絡を受け担当する。

[介護給付請求件数内訳]

	総数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	127	56	35	17	12	7
5月	129	53	39	19	13	5
6月	129	54	39	17	15	4
7月	126	53	38	17	13	5
8月	130	53	38	17	17	5
9月	128	50	36	19	16	7
10月	130	50	40	18	16	6
11月	125	47	39	20	14	5
12月	129	50	38	22	14	5
1月	127	52	35	21	15	4
2月	129	54	33	22	16	4
3月	130	56	32	22	15	5
合計	1539	628	442	231	176	62
月平均	128	52	37	19	15	5

[予防給付請求件数内訳]

	総数
4月	44
5月	43
6月	43
7月	41
8月	42
9月	44
10月	46
11月	48
12月	47
1月	46
2月	46
3月	48
合計	538
月平均	45

(件)

(件)

介護支援専門員1人当たりの担当件数を介護給付29件、予防給付8件とした目標は、介護給付25.7件、予防給付9.0件の実績となる。

訪問調査の実施

- ◇ 新居浜市からの委託を受け、要介護認定申請者の訪問調査および実施をした。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14	7	12	18	13	8	6	13	4	8	5	9	117
											月平均	10

(件)

業務に関連する研修会には、積極的に参加して、各自知識等の向上に努めた。

事業所内の連携については、週に一度、利用者の近況報告や支援内容についての検討会を開催して、新規利用者の状況やサービス内容及び入院等の情報を部署内で共有しました。

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所
デイサービスセンター
グループホーム

ふたばの森

特別養護老人ホームふたばの森

1. 総務及び経理

1. 予算管理

開設4年目予算に関して、別紙決算書の通り大規模修繕や高額な機器購入も無く当初予算に基づき予算を執行した。

2. 施設環境管理

(1) 前年度に引き続き入居者に不便のないようまた、安全・安心に暮らしていただけるよう配慮した。また、消防設備・電機設備等を各専門業者により、定期保守点検を実施した。特にエレベーターについては保守契約を結び現地での点検及び電話回線による24時間監視装置を配備した。

(2) 災害対策として、昼間及び夜間想定にて消防署の立会も得て避難訓練及び消火訓練を行った。また、水害及び震災訓練も事業計画に組み込みそれぞれの災害を想定して実施した。

3. 新居浜市介護支援ボランティアの受入

新居浜市高齢者生き甲斐施策として11月1日より、介護支援ボランティア制度を開始。当事業所においても受入事業として登録を行いボランティアの受入を行い高齢者の生き甲斐作りに寄与するとともに、傾聴など利用者のサービスの向上に繋がった。

4. 安全衛生対策

職員の安全衛生に関し、健康診断、インフルエンザ予防接種、検便検査を定期的に行うとともに、職員及び来森者に対し来森時の手洗い、うがいを励行して冬期だけでなく毎日の感染症予防に努めた。本年度はノロウイルスに関して感染者は出なかったが、インフルエンザについては散発的に利用者・面会者及び職員が感染した。

5. 職員研修の充実

職員の資質向上、情報収集のため関係団体が主催する各種研修に積極的に申込み、多くの職員が参加した。また、内部研修も研修委員会を中心に計画を立て、多くの職員の参加を得て各種知識、技術の習得を図った。

6. 地域貢献

地域交流スペースを大勢の地域住民に開放し利用していただいた。特に地元客谷自治会においては、毎月の自治会役員会を開催していただいた関係から地元4ブロック自治会合同で開催されて合同災害避難訓練にも参加させていただいた。これらを踏まえた上で、本年度も防災協定を結んだ。

2. 相談及び援助

1. 稼働率について

稼働95%に対して、実績として94%となった。退所日から一週間以内の入所調整を図ったが、入所保留者の多さと複数の退所ケースの為に結果的に空床期間を抑

えれなかったことが原因である。また、空床の活用についても法人内にて調整を図るも利用ニーズが乏しく、活用するに至らなかった。来年度の課題としては退所ケースを想定した待機者の確保が不可欠であるため、待機者に対しての入所意思の定期的確認と早期の面接を実施する。

2. 利用相談等の調整・対応について

利用者に関する必要な事項は随時契約者と連絡相談を行いサービス内容の調整を行う。新規利用者に対しては既存の資料にて説明を行ない説明不足等確認を行ない円滑にサービスへの利用に繋げた。

3. 生活リハビリの継続と充実

介護力向上研修会にて習得した技術と知識を基準にした生活リハビリを歩行可能な利用者を対象に主に歩行練習を実践した。状況としては一定の利用者に提供することで、状況の変化等を比較することで利用者の状態を他職種、家族と情報共有することができ、利用者の理解と状態に応じた密なサービス提供に繋がった。

4. 実習・ボランティアについて

ボランティアの受け入れ体制以前にボランティアによる活動が少なく、新規ボランティアの活動もみられたが、ほぼ前年度と同じ活動状況であった。課題としてはボランティア活動受け入れの呼びかけを関係機関に図り、少しでも多くのボランティアの皆さんに施設の訪れていただき、利用者の生活の質の向上に繋がるように働きかけが必要である。

3. 介 護

1. ユニットケア

(1) さくらユニット

平成26年度さくらユニットは好みの飲み物を取り入れながら、日中少しでも多くの水分を取って頂くよう努めた。科学的介護の基本ケア「水分、運動、排便、食事」を取り組み、医務と連携しながら自然排便が出るように心掛けた。

①食事、水分：リビングではゆっくり食事が摂れるようにテーブルの配置を工夫したり、食後に好みの食べ物（みかんやお菓子等）を食べてもらっている。居室では、音楽やテレビを個々で楽しんでもらうようにしている。個人に合わせた口腔ケアを行い、誤嚥性肺炎の防止に努めた。

②入浴：個々の要望に応えた入浴を馴染みの関係の職員が対応する事で気持ち良く安心して入浴して頂ける様対応した。

③排泄：個々の好みの飲み物を多く摂って貰ったり、イーjeeファイバーやオリゴ糖などを飲んでもらい緩下剤を調整しながら自然排便が気持ち良くトイレで出るように対応した。

④整容：本人の体調を考慮し季節にそぐわしい服装に心掛けた。

総評：26年度は利用者の入れ替わりが多くあり、早く施設に慣れて頂く様利用者の要望や思いに心掛けた。又、体調不良で外出が出来なかった利用者が多くあった事が残念であった。一部ではあるが利用者と一緒にばら寿司を作り、昔を思い出しながら残存機能を維持し喜んで頂けたことが良かったと思う。今後は他職種と連携を取りながら利用者の体調に合わせて外出や要望を少しでも実現できるようスタッフ一同頑張っていきたいと思おう。

(2) いちようユニット

いちようユニットは自立支援の介護を前提に、個別処遇を行えるように努力をした。利用者個々の生活習慣やペースに合わせて、言葉かけや対応をする事でその方の心の安心を守るように努めた。

①食事：栄養士、看護職員、ユニット職員で食事はそのままの形や彩りを楽しみながら摂っていただきたいと考え、常食を食べてもらえるように努めた。

②入浴：週に2回マンツーマン入浴を実施。皮膚状態の悪い方等は入浴回数を増やして対応。お風呂が苦手な利用者ば、都度職員が声掛けの工夫をして、入浴されている。

③排泄：オムツ外しを目指し、いちよう職員全員で「排泄はトイレで！」との思いを掲げ実行。イーザーファイバーやヨーグルトなども取り入れ、1日の水分を多く摂ってもらい下剤・浣腸の使用量が大幅に減少した。利用者が飽きない様に工夫をしながら、継続していきたい。

④整容：希望のある利用者には、昔からの行きつけの理容店や美容室を利用、今までの生活の延長となるように取り組んでいる。希望があれば、職員が利用者の毛染めも行っている。利用者とは着用する衣類を決めたり、女性利用者には特にオシャレを忘れない様に化粧等の美容も行っている。

総評：介護力向上の取り組みにて、食事は見て楽しみ、よく噛んで食べる事の大切さを感じ、多くの利用者に普通食を提供し食べる事ができている。外出等の行事は、本人の希望を聞きながら実施する事ができているが、全員参加が難しいのが現状。外出行事等に参加出来ない方には、施設内での行事に参加出来る様に調整していく。個人の排泄パターンや身体的・精神的機能を把握し、日々の生活を利用者とは過ごす事で利用者のアセスメントを充実させ、個別のケアプランに反映できる様に今後も努めていきたい。サービスの質向上の為に、ユニット内で目標を決めて毎日のチェックを行い、実施できていない部分に関しては、職員の指導を行っていき改善の為に話し合うことが出来ている為、今後も継続していきたい。

(3) ふじユニット

・利用者や家族のとの関わりを多く持ち、信頼関係を深めていくように心がけた。

- ・元気な方の外出や行事をする機会を持ち気分転換を図れたが、今後も利用者の要望に添えた外出の機会や行事を増やす。
- ・日々の体調変化に気を付け、医務、相談員、家族と連携を図りながら入院者を出さないようにしていく。
- ・生活の場であるユニットのリビングには季節の花や季節の飾り物などを提供し、利用者の方達にも四季を感じて頂くよう心掛けた。お部屋で過ごされる方にも季節を感じてもらえるよう生花を提供しスケッチを楽しんでもらえるよう心掛けた。

①. 食事

- ・本人のペースにあった食事形態を提供し、水分を多く摂ってもらうようお茶ゼリー、イオンサポートや好みの飲み物で対応した。
- ・食卓のテーブルの配置を工夫し、会話を楽しめながらゆっくり食事が取れるようにした。また好みの食べ物（麺類）を提供し食欲をそそるよう心掛けた。
- ・個人に合わせ食前食後の口腔ケアを徹底し、誤嚥性肺炎の防止に努めた。
- ・自助具（スプーン・皿）を使用して声を掛け見守ることで、少しでも自力摂取ができるよう工夫した。

②. 入浴

- ・個人の皮膚の状態を考慮して週2回以上入浴を実施することができた。
- ・ゆったりと安らぐ雰囲気大切に事故無く入浴が実施できた。
- ・衣類の着脱時など過介護にならないよう、声を掛け見守ることで残存能力を活かすことができた。
- ・出来るだけ個々の要望に応えた入浴ができた（湯の温度、時間、入浴開始時間）

③. 排泄

- ・出来るだけトイレ誘導をする事により気持ちよい排泄が出来るよう関わっていく事ができた。排便についても自然排便が促せるようイーージーファイバーを使用したり食べ物や飲み物の工夫をしていった。
- ・個人に応じたオムツ交換時間を実施していく事ができた。

④. 整容

- ・個人のブラシや化粧品、クリームを使用することにより、皮膚の保湿・清潔に努める事が出来た。

総評：26年度も利用者や職員の入れ替わりはあったが、大きな事故や入院者も出すことなく過ごせた事がとても良かった。ふじユニットの利用者全員での外出する機会は持てなかったが、個別に買い物や外食など楽しんでもらい利用者の嬉しそうな顔を見る事が出来て良かったと思う。今後も、外出や外食が出来る機会を多く作りたいと思う。これからは天気の良い日に外の散歩などが出来て、毎日の生活にもメリハリが付くように関わっていきたい。又、ふじユニット理念、「元気に笑顔で挨拶 感謝の気持ちを忘れずに」をスタッフ全員に浸透していくように努めていきたい。

2. ショートステイ（もみじ）

在宅生活を送られている方が短期間の施設生活に馴染んでいただけるように、居宅

サービス計画書を元にケアプランを作成し、目標に沿って利用者に関わった。その結果、ショートステイ利用中の記録を家族・ケアマネジャーに渡す事で、利用中の様子を知ってもらう事ができている。今後も利用中の様子を観察しながら、家族・ケアマネジャーと相談し良い処遇が出来るように繋げていきたい。

- ①食事：食事形態・食事提供時間等の要望を聞き入れながら、栄養士・医務・家族と連携し、その方に合った食事を都度提供した。
- ②入浴：プライバシーの確保に努め、マンツーマン入浴を実施。入浴回数は本人・家族の要望を聞き入れながら対応。
- ③排泄：については、在宅と同様の排泄パターンを続けられる様に、事前の聞き取りや本人の要望を聞き入れることで自立支援に努める事が出来た。
- ④レクリエーション：広々としたもみじリビングを活かし、賀寿の祝い・人形劇・いも炊き会等の行事を行う事ができ、お花見や紅葉見物の外出行事も行き、多くの利用者に喜んでいただけた。おやつ作りは、女性利用者は特に昔自宅ですしていた炊事を思い出された様子で生き活きとされた表情で参加され、利用者と職員が一緒に楽しむ事ができた。

総評：今年度は職員移動と新規利用者の利用が多く余りレクリエーションや外出等の行事が出来ていないと思われるが、季節の野菜（つくし・カブラ・たしっぽ等）を使用しリビングでの調理を行うことが出来ていた。男性利用者も積極的に手伝ってくれる意外な一面をみる事ができた。利用者と職員が一体になって作業をする時間が多くなる事で、利用日数が限られている中でも絆が芽生えた様に思う。今後も多くの利用者に喜んでいただけるような利用者と職員の馴染みの関係を築いていき、これからもふたばの森を利用したいと言って貰えるような施設にして行きたい。

4.健康管理

1. 健康保持について

- (1) 重度利用者が増加する中、早期に体調の変化を把握し異常の早期発見や悪化防止に努めた。
- (2) 利用者や家族の希望により専門医受診に対応し、早期治療に努めた。

2. 褥創予防対策について

- (1) ハイリスク者計画書を作成し、毎月評価を行い、多職種協働体制の下、褥創ゼロを目指した。今後も連携を強化して一層の予防に努める。
- (2) 低栄養による褥創発生防止のため、栄養ケアとも連携し予防・早期改善に努めた。

3. 感染予防について

- (1) インフルエンザワクチン接種を行い感染予防対策に努めた。本年度は、インフルエンザ罹患者はでなかった。

(2) ノロウイルスに対しては、ノロウイルスキット（検査薬）購入にて早期発見に努めた。今年度は、ノロウイルス発症者はいなかった。

4. 看取り介護について

平成25年度は看取り介護者は3名いた。今後、他職種協働で、本人、家族の希望に、より応えていける様、介護計画を立案し、個人の尊厳を守り、安楽に過ごせる様努めたい。

5. 食事の提供

1. 栄養ケアマネジメントの実践

利用者の低栄養状態を予防、改善するために多職種協働で栄養ケアを実践した。リスクも目立って良くはならないものの、一人ひとりの栄養状態は維持され健康状態の急速な悪化を防ぐことができた。

2. 食事サービスの充実

- (1) 経口摂取が維持できるよう食事形態の工夫を行い、摂食機能にあった安全な食事作りを実施した。特に刻み食、ミキサー食における肉、魚、更に主食において実施した。今後も工夫、改善をしながら、取り組む。
- (2) 行事食や、ユニットごとにおやつ作りを行い楽しみのある食事を提供した。
- (3) 週2～3日選択食を実施し、利用者の希望に添える食事内容に努めた。
- (4) 味付けの工夫や、食欲をそそる盛りつけの工夫をし、食事意欲が高まる食事作りに努めた。
- (5) 各ユニットに合ったテーブルや椅子の配置を行い、花を飾ったり落ち着いて食事ができる環境設定をした。

3. グループケアの取組み

それぞれのグループで食事の雰囲気作りや、食事介助、食事時間の工夫を行い、安心して和やかに食事ができるよう取組んだ。

4. 安全で衛生的な食事サービス

- (1) 食中毒、ノロウイルスの発生を防止するため、衛生管理の更なる徹底に努めた。
- (2) 温度管理、調理器具、調理室内の衛生管理に努めた。
- (3) 職員の衛生上の知識の向上と徹底に努めた。

6.委員会活動報告

〔研修委員会〕

平成26年度は、7回の学習会を開催し、職員の知識の習得・再確認の機会を設けることができた。

1. 学習会実施内容

- 7月…身体拘束について 研修委員会
- 8月…四国大会研修発表 対象者
- 9月…感染症について 感染症対策委員会
- 10月…虐待防止 外部講師
- 11月…事故防止（リスクマネジメントセミナー） 外部講師
- 2月…感染症について 外部講師
- 3月…看取りについて 看取り委員会

2. 今後の課題

26年度は、研修委員会発足年度であったこともあり、7月からの学習会開催となった。27年度は回数を増やすと共に、内容についても充実させることを検討する。

〔排泄委員会〕

平成26年度も一昨年、昨年に引き続き、基本理念・基本方針を踏まえ、利用者の状態に応じて個人にあった排泄環境の整備、オムツ外し支援、各ユニット間や他職種と情報交換、共有をしながら委員会活動を行った。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／12回 出席延べ人数／54名

2. 取り組み

- (1) 各ユニットのマイパントスの利用者の把握と促進
- (2) 排便を促す為、介護力向上委員会にて各ユニットでの取り組み・工夫について
- (3) コスト削減のため、陰部清拭はウエスを使用
- (4) 毎月オムツの出庫管理（各ユニット毎）、使用状況を見直す
- (5) 各ユニット毎の失禁対策及び、失禁シート利用の見直し
- (6) トイレつまり対策（トイレ内に必要な物以外は置かない）

総評：昨年同様、四つの主な取り組みを設定しよりよい個別排泄支援とオムツ外しを目指した。毎月の委員会では、各ユニットでの利用者の排泄状態を報告、確認することにより、他ユニットの職員でも利用者の排泄パターンを把握して個別に対応出来る様にした。また、個人にあったオムツ、パット類を提供することにより、利用者に清潔で穏やかな生活をして頂くと共にコスト削減を行った。次年度も利用者の状態、要望に応じた排泄環境の整備・支援を行い、排泄が利用者の生活の負担にならないよう委員会活動に取り組んでいきたい。

〔入浴委員会〕

平成26年度は、利用者にとって入浴が快適で安らぐ時間となる様に委員会にて取り組みを行った。ユニット間と他職種との連携を行い、身体清潔の保持、皮膚の状態の確認、精神的な安らぎと楽しみを与えられるように、その日の体調を確認しながら無理のない入浴を行うことができた。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間/12回

出席延べ人数/46名

2. 取り組み

(1) 入浴表とチェック表の活用

利用者の入浴曜日変更等は速やかに変更し、各ユニットへ配布し全職員が把握できるようにする。1日の入浴者全体のバランス、タイミングをふまえ、ゆったりとマンツーマン入浴が出来るように工夫している。

(2) 入浴後はチェック表にて確認し備品等の不足は補充し、片付けを行う。

(3) 爪切り…爪切りを行う際には、新聞を広げ後片付けを確実にし清潔保持する。

(4) 皮膚状態のチェック…全身の皮膚状態を観察し、他職種との連携を行い保湿軟膏等での保護を行う。必要な利用者へは刺激の少ない石鹸、弱酸性のボディソープ等を使用する。

(5) 清潔…櫛は利用者1人ずつ清潔な物を使用。使用前、使用済みの容器を用意。使用後は都度洗浄消毒行う。

(6) 利用者へのプライバシー保護の為、カーテンやタオルを使用し利用者への配慮を行う。

(7) バルンキャップ使用後は瓶に入れて医務室に返却する。バルンは専用の箱に入れ、都度消毒を行う。

(8) 浴槽タンクの殺菌は月末日曜日。溝掃除は月末最終入浴日。脱衣室、入浴室の床掃除は年2回（6月と12月）に実施。

(9) ショートステイ利用者の入浴

・利用者の注意事項はマグネットに記入。ショートステイ職員が入浴介助者に都度注意事項は口頭でも伝える。

・入浴時の様子、排泄、皮膚状況等をショートステイ職員に都度伝える。

・利用者持参の保湿剤、リンス等はわかりやすいように衣類と共に置き、シューズも衣類とセットで置く。

総評：委員会にて、各ユニットの問題点等を都度出し合い、話し合う事で利用者に無理のない入浴介助を行えるように取り組んだ。他施設での事故の事例にて、入浴中の事故防止にも取り組んだ。

〔感染対策委員会〕

平成26年度も感染症に関する予防知識の習得、対策を委員会が中心となり取り組んだ。特にインフルエンザ、ノロウイルスなど施設における感染症又は食中毒予防及びまん延防止の対策を検討する委員会として、幅広い職種の構成で委員の責務、役割分担を明確にし

ながら運営した。また指針、マニュアルの見直しを行い職員一ひとりが適切な知識をもち、平常時からの対策を実施することが出来た。特養、ショート、デイにてインフルエンザ感染発生時には迅速で適切な対応が出来た。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／9回 出席延べ人数68人

2. 委員会検討内容（項目のみ）

- 6月 … 委員会趣旨をメンバーに周知徹底。今後の学びについて提案してもらう。
- 8月 … MRSA対策について周知徹底。
- 9月 … 内部学習会（感染予防）の打ち合わせ。感染症予防チェックリストの活用。
- 10月 … 内部学習会の振り返り。マニュアルの見直し。
- 11月 … マニュアルの見直し。嘔吐物凝固剤の導入検討。
- 12月 … 嘔吐物凝固剤（クロニタス）の取扱について。感染症対策基本動作および感
- 1月 … 臨時感染症対策委員会 入所者インフルエンザ感染対応について協議。
新居浜市へ事故報告書提出。
- 2月 … インフルエンザの状況について。感染症予防策について周知徹底。
微酸性電解水生成器のリース契約について。
- 3月 … 微酸性電解水生成器（コアクリーン）の評価。来年度の計画。

3. 今後の課題と取り組みについて

平成27年度に向けて、ショート、デイ受入時の感染症が疑われる方への受入や利用延期に向けての詳細な対応マニュアル作成に取り組む必要がある。また、MRSAや緑膿菌についても具体的で時代に即した対応マニュアル作成に取り組まなければならない。そして、26年度にリース契約を締結した微酸性電解水生成器（コアクリーン）の活用についても周知徹底を図りたい。

〔給食委員会〕

平成26年度は基本理念・基本方針を踏まえ、入所者一人ひとりが健康で、安心した生活が送れるよう、栄養ケアの充実と、満足される食事作りを目指した活動を実施した。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／11回 出席延べ人数／68人

2. 栄養ケアマネジメントの実施

- ・身体計測の実施
- ・モニタリングの実施
- 食事形態の検討・栄養補給の検討・水分補給の検討・体重増減者の検討
- 高リスク者の検討（食欲不振者の検討・嚥下困難者の検討）
- ・栄養ケア計画の変更と実施

3. 各ユニットの取り組み

さくらユニット

- ・おやつ作り
- ・お寿司作り
- ・遠足
- ・便秘対策
- ・水分補給

・水分のトロミ調整

ふじユニット

・便秘対策 ・おやつ作り ・水分補給 ・外食の実施

・食堂での食事摂取と見守りの強化 ・遠足

・水分のトロミ調整（お茶ゼリーの見直し、粥ミキサーの見直し）

いちようユニット—入所者の要望を聞きながら楽しみのある食事の取り組み

・おやつ作り ・夕食作り ・ケーキ作り

・外食の実施 ・水分補給 ・遠足

・便秘対策（食物繊維の使用）

4. 食事時間の見直し

(1) 摂食、嚥下困難者…ゆとりを持って介助し、誤嚥の予防に努める。

(2) 利用者に合った時間…昼食の早出し時間—11時45分

夕食の早出し時間—17時

5. 毎月の行事食の計画と実施

4月…お花見

5月…こどもの日 開設記念日

12月…クリスマス会・大晦日

7月…七夕会

1月…お正月(祝い膳)

9月…敬老の日(いもたき会)

2月…節分・バレンタイン

10月…お祭り ハロウィン

3月…ひな祭り

・デイサービス実演 年3回実施(握り寿司 2回 天ぷら 1回)

6. 次年度への課題

・栄養ケアについては個々の状態にあわせ、計画の見直し、検討をし、早い対応を図る。

・行事食については、新しい発想やアイデアを出し合い、入居者に喜ばれる企画を立案実施していく。

・食中毒の予防と安全な食事の実施を図る。

・委託業者と密に連携をはかり、入居者の要望に耳を傾け、応えられる業務遂行をする。

〔事故防止委員会〕

平成26年度は介護事故発生の防止及び再発防止のための対策を検討する委員会として実施。構成メンバーについては、施設長、生活相談員、栄養士、看護職員、ユニットリーダー等幅広い職員の構成で各メンバーの責務、役割分担を明確にしつつ、事故発生の防止に努めた。事故報告された事例を集計し、分析にて具体策の検討を加えていった。ただ、この一年、重大事故に結びつくようなケースもあり、今後も施設内リスクマネジメントの確立が必要である。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／12回

2. ふたばの森における事故・ヒヤリハットの報告

	特養				短期			
H26, 4月	事故報告	5件	ヒヤリ	4件	事故報告	7件	ヒヤリ	2件
5月	事故報告	6件	ヒヤリ	4件	事故報告	12件	ヒヤリ	2件
6月	事故報告	5件	ヒヤリ	2件	事故報告	9件	ヒヤリ	3件
7月	事故報告	7件	ヒヤリ	1件	事故報告	10件	ヒヤリ	1件
8月	事故報告	5件	ヒヤリ	5件	事故報告	5件	ヒヤリ	1件
9月	事故報告	11件	ヒヤリ	11件	事故報告	2件	ヒヤリ	0件
10月	事故報告	12件	ヒヤリ	13件	事故報告	11件	ヒヤリ	3件
11月	事故報告	11件	ヒヤリ	10件	事故報告	7件	ヒヤリ	4件
12月	事故報告	17件	ヒヤリ	12件	事故報告	5件	ヒヤリ	6件
H27, 1月	事故報告	10件	ヒヤリ	10件	事故報告	4件	ヒヤリ	5件
2月	事故報告	11件	ヒヤリ	5件	事故報告	3件	ヒヤリ	0件
3月	事故報告	15件	ヒヤリ	3件	事故報告	7件	ヒヤリ	1件
合計		115件		80件		82件		28件

3. 今年の現状

平成26年度は上記件数となった。利用者の重度認知症や重度化に伴って、事故後の対応として医療機関の受診、入院の経緯もあり、ますますリスク管理の必要性を実感している。(新居浜市介護福祉課〔地方局〕への事故報告は4件提出。)

4. 今後の課題と取り組み

事故の発生要因の分析能力のスキル向上も求められている為、継続してリスクマネジメントの研修など定期的を実施し職員に周知徹底を図ることが大切と考える。特に事故発生リスクの高い利用者へ再発予防の為の検討と情報収集体制を見直す必要がある。

〔褥瘡委員会〕

当施設において褥瘡が発生しない適切な介護を行うことができるように、その発生を防止するための対策を検討した。また、幅広い職種で構成することによって責任割合、分担を明確にするとともに、具体的な予防対策、褥瘡の基本的知識の徹底や栄養面でのケア等に重点をおき、職員教育を浸透させるために施設内における学習会を実施した。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／10回 出席延べ人数／54名

2. 褥瘡者に対するケアと経過報告

4月…0名	10月…2名
5月…0名	11月…1名
6月…0名	12月…1名
7月…0名	1月…1名
8月…1名	2月…1名
9月…2名	3月…1名

3. ハイリスク者に対してのケアの実施

4月…1名	10月…0名
5月…7名 *	11月…1名
6月…0名	12月…7名 *
7月…0名	1月…0名
8月…1名	2月…0名
9月…1名	3月…0名

4. 健康診断によるアルブミン値の評価（給食委員会にて検討）

- 4月低アルブミン者1名…給食委員会にて検討
- 12月低アルブミン者6名…給食委員会にて検討

5. 褥瘡委員会による研修

- 5月24日 ブレーデンスケールについて（5名）
- 6月21日 高齢者の日常生活自立度について（5名）
- 3月27日 ヒヤリハット報告書（発赤）用の作成、使用目的について（6名）

6. 年2回ブレーデンスケールにて利用者の褥瘡発生予測の評価

- 5月…29名評価
- 12月…29名評価

7. 福祉用具の見直し…年2回実施、評価

8. 褥瘡状況と結果について

褥瘡初期の発赤と表皮剥離と、圧迫等によりおこる皮下出血と表皮剥離の違いを、職員に理解してもらった。9月より下肢の尖足部の褥瘡（短期間で軽快）、ターミナルの人で治癒の見込みのない人の疼痛緩和に対する処置の必要性も感じた。又、仙骨、腸骨にポケットのある人の入所もあり、今後の褥瘡処置の継続と経過を必要としている。

9. 今後の取り組みについて

高齢者や基礎疾患を抱え、短期間で、急に日常生活の自立度が下った人の褥瘡の発生率が高いように思う。

ハイリスク者計画書作成、実施、記録、評価にてケアプランに取り入れ、毎月評価、状態観察を多職種と連携しながら継続してゆく。又、発赤、水疱形成、表皮剥離程度での発見が必要で、今後、発赤用のヒヤリハットの用紙を活用することで、早期の処置で悪化予防につなぐ事ができればと思う。褥瘡悪化時には 専門医の診断を仰ぎ、早期治癒に向け対応してゆく。また、今後も学習会を行い、多職種の方の褥瘡予防や知識のレベルアップに努めてゆく。

〔認知症委員会〕

平成26年4月より、科学的介護4つの基本ケア「水分、食事、排泄、運動」を中心に支援を行い、身体的改善や認知力改善に取り組んだ。構成メンバーは施設長、生活相談員、看護職員、各ユニット、デイサービス等。問題行動の重度の方には心療内科嘱託医と相談しながら安全で安心した生活を送れるよう検討した。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間/12回

出席延べ人数/84名

2. 取り組み

- (1) 各ユニットで取り組みと状況を報告をしてもらう。
- (2) 介護力向上委員会で認知症対象者の状況確認
- (3) 夜間、不穏症状の方に対する取り組みについて
- (4) 楽しみを見つける為の方法策、音楽療法等

3. 平成26年度の活動と結果について

介護力向上委員会と平行しながら認知症の方への対応や仕方、症状改善に取り組んで来たが、目立った成果が見えなかった。認知症に対する勉強不足もあったと思う。

しかし、関わりを多く持つことで症状が和らいだ方もいるので今後も基本ケアを中心に活動していく。

4. 今後の課題と取り組みについて

今後も、基本ケアを中心に活動し施設生活の中で生き生きとした生活を送れるようにしていく。また、内部学習会で講師を招いて認知症について勉強会をしていく。

〔環境委員会〕

平成26年度は前年度同様に花や野菜の栽培、朝の清掃を中心に環境作りを行い、利用者に気持ち良く過ごして頂けるよう委員会活動を行った。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／7回

出席延べ人数／35名

2. 取り組み

- (1) 花のプランター栽培（朝顔、パンジーなど）
- (2) 野菜のプランター栽培とグリーンカーテン
もみじベランダ・・・きゅうり、ミニトマト
デイ・テラス・・・ゴーヤ、ヘチマ、ミニトマトなど
- (3) 朝の清掃チェックシート、当番表の作成と各部者への声掛け
- (4) 2階もみじベランダの溝掃除

3. 平成26年度の委員会活動について

花、野菜の栽培、グリーンカーテンなどの試みはある程度の成果が得られ、今後も継続して実施していきたい。敷地内の朝の清掃、もみじベランダの溝掃除など各職員の協力を今後ともお願いしたい。

4. 今後の課題と取り組みについて

花の栽培がやや少なく、空いたプランターがそのままになっていたりしたので、今後は季節ごとの花の植え替えや、多年草の栽培など検討していきたい。敷地内の清掃についても、各職員の清掃箇所が不明確であるため、週替わりで場所を指定などの工夫を行い、気持ちの良い生活環境作りを行っていきたい。

〔防災対策委員会〕

平成26年度より、利用者に安心して施設・事業所を利用して頂き、火災・地震・水害といった様々な危機に迅速・的確に対応をする為、日常的に危機に対する予防策を講じる体制を整備します。危機発生時に被害を最小限に抑えるため、避難訓練・設備点検を行う。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／12回

出席延べ人数／76名

2. 取り組み

(1) 避難訓練

5月28日 10:30～11:00 参加者33名

訓練内容

避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施。避難終了後、職員を中心に水消火器を使用して初期消火訓練を実施した。

(2) 水防訓練

10月1日 10:30～11:00 参加者13名

訓練内容

水害を想定し、土嚢の設置、避難誘導訓練を実施した。

(3) 総合避難訓練

11月10日 10:30～11:00 参加者35名

訓練内容

避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施。避難終了後、職員を中心に水消火器を使用して初期消火訓練を実施した。また、消防署立会いによる訓練評価、講習を行った。

(4) 元船木合同自主防災訓練

11月23日 9:00～10:00 参加者14名

元船木地区合同の避難訓練。水害、土砂災害について講習を行いました。

(5) 震災訓練

3月11日 10:00～10:30 参加者33名

訓練内容

地震を想定した利用者の退避誘導訓練を行う。

総評：月1回の委員会を行い防災訓練の実施が行えた。平成27年度は訓練内容、及び施設防災マニュアルの見直しを行い、より危機に対して迅速・的確に対応できるよう委員会に臨みます。

〔接遇委員会〕

平成26年度の活動としては主として接遇チェックシートの運用に取り組み、実施、評価による一連の流れ等の見直しを行ない、評価結果による自己分析と課題検討に結びつくように改善を図った。

1. 委員会開催回数及び出席人数

年間／5回 出席延べ人数／41人

2. 接遇チェックシートの運用について

- ・ 評価者による評価を行ない、本人に評価結果を説明して本人の確認印後、接遇委員長に提出する。
- ・ 評価項目の内容については、各部所単位で都度見直し、必要に応じて内容を変更する。

2. 今後の課題

平成27年度は、接遇に関するマニュアルの作成を主とした活動とする。また、定期的な委員会の開催にて内容についての充実を図る。

7. 職員研修参加状況(ふたばの森)

月	日	内容	場所	出席者
4	23	県老施協 第1回総会・施設長研修会	松山	施設長1名
	25	東予老施協 施設長研修会・総会	土居	施設長1名
5	16	介護力向上講習会 第1回	松山	施設長1名、介護職員1名、看護職員1名
	20	第10回愛媛県老人福祉施設大会	松山	施設長1名、介護職員1名
6	17	「福祉の職場」新任研修会	松山	介護職員1名
		福祉施設協議会第1回職員スキルアップ講座	市内	相談員1名
	18	県老施協 新会計研修会		施設長1名
	24	東予老施協「新任職員研修会」	湯ノ浦	介護職員1名、看護職員1名
	26	県経営協「コーチング講座」	松山	施設長1名
27	市認定調査員新任者向け研修	市内	相談員1名	
7	8~9	第63回四国老人福祉施設関係者研究大会	徳島	介護職員1名
	16	特定給食施設等関係者研修会	西条	栄養士1名
	25	介護力向上講習会 第2回	松山	相談員1名、介護職員1名
8	5	サービス向上研修会第2回「ターミナルケア」	松山	看護職員1名
		県老施協 施設ケアマネジメント研修会	松山	介護職員1名
9	2	東予老施協「生活相談員研修会」	土居	相談員1名
	10	「福祉の職場」中堅職員研修会	松山	介護職員1名
	25	東予老施協「介護職員研修会」	土居	介護職員2名
	26	介護力向上講習会 第3回	松山	介護職員3名
	29~30	四国ブロックカンントリーミーティング(in高知)	高知	相談員1名
10	9	東予老施協栄養士研修会	湯ノ浦	栄養士1名
	15	サービス向上研修会第3回「リスクマネジメント」	松山	相談員1名
11	5	東予老施協 介護支援専門員研修会	湯ノ浦	介護職員1名
	5	特定給食施設等関係者研修会	西条	栄養士1名
	14	東予老施協施設長と防災担当職員との合同	湯ノ浦	施設長1名、相談員1名
	18	介護力向上講習会 第4回	松山	介護職員1名、看護職員1名、栄養士1名
	19	サービス向上研修会第4回「大規模災害時の	松山	施設長1名、相談員1名
	19	東予老施協第2回介護職員研修会	土居	介護職員2名
	25~26	全国老人福祉施設研究会議	香川	相談員1名、介護職員1名
12	12	サービス向上研修会	松山	施設長1名、相談員1名
	19	県老施協 認知症ケア研修会	松山	介護職員1名
1	16	東予老施協 看護職員研修会	湯ノ浦	看護職員1名
	19	第2回デイサービスセンター職員研修会	松山	施設長1名
	27	介護力向上講習会 第5回	松山	介護職員3名
2	5~6	第13回四国老施協セミナー	松山	施設長1名
	18	県経営協 青年経営者会研修会	松山	相談員1名
	20	県老施協 認知症ケア研修会	松山	介護職員1名
	28	東予老施協介護職員研修	市内	介護職員2名
3	5	第2回東予老施協施設長研修・総会	湯ノ浦	施設長1名
	10	県老施協第2回総会・施設長研修会	松山	施設長1名
	24	介護力向上講習会 第6回	松山	介護職員3名

8. 事業実施状況

月	保健衛生	施設管理	ボランティア	地域交流スペース利用状況
4	<p>7/31 職員健康診断(39名)</p> <p>7/30 職員検便(39名)</p> <p>利用者健康診断採血(29名)</p>	<p>6 受水槽点検</p> <p>12 DS浴室修繕</p>	<p>7/23 よさこいボラ</p>	<p>7/5 客谷自治会 19:00～20:00(14名)</p> <p>7/7 フラダンス練習 15:40～17:00(6名)</p> <p>7/16 東茅老施設打ち合わせ 13:30～(13名)</p> <p>7/21 フラダンス練習 15:40～17:00(6名)</p>
5	<p>7/14 入居者健康診断(29名)</p> <p>7/31 栄養士検便(4名) + 外部委託調理員(4名)</p>	<p>11 全館ワックス</p> <p>13 電気設備点検</p> <p>18 全館ワックス</p> <p>22 ストレッチャー修理</p> <p>23 建物検査(特養、DS浴室)</p> <p>28 避難訓練</p> <p>30 EV定期点検</p>	<p>7/6 傾聴ボラ(1名)</p> <p>7/27 傾聴ボラ(1名)</p>	<p>7/26 運営推進会議 19:00～</p> <p>7/12 客谷自治会 19:00～20:30(14名)</p> <p>7/12 フラダンス練習 15:40～17:00(7名)</p> <p>7/12 客谷川長寿会役員会 19:00～20:30(10名)</p> <p>7/14 居宅別会 13:30～16:00(30名)</p> <p>7/15 施設ケアマネ部会 13:00～17:00(20名)</p> <p>7/26 フラダンス練習 15:40～17:00(7名)</p>
6	<p>7/30 栄養士検便(1名) + 外部委託調理員(4名)</p>	<p>5 特別浴槽シャワー詰まりOG修繕</p> <p>18 荷物用EV点検</p> <p>25 静養用照明器具点検</p>	<p>7/4 傾聴ボラ(1名)</p>	<p>7/16 フラダンス練習 15:40～17:00(6名)</p> <p>7/16 フラダンス練習 15:40～17:00(10名)</p> <p>7/23 東茅21世紀委員会 13:30～(13名)</p>
7	<p>7/30 栄養士検便(1名) + 外部委託調理員(4名)</p>	<p>8 電気設備点検</p>	<p>7/4 傾聴ボラ(1名)</p> <p>7/28 運営推進会議 19:00～</p>	<p>7/5 客谷自治会役員会 19:00～20:00(14名)</p> <p>7/7 フラダンス練習 15:40～17:00(6名)</p> <p>7/9 客谷川長寿会 19:00～20:00(10名)</p> <p>7/13 チャリティカラオケ</p> <p>7/15 東茅老施設打ち合わせ 13:30～15:30(16名)</p> <p>7/17 フラダンス練習 15:40～17:00(6名)</p>
8	<p>7/31 栄養士検便(4名) + 外部委託調理員(4名)</p>	<p>30 EV定期点検</p>	<p>7/1 傾聴ボラ(1名)</p> <p>7/22 傾聴ボラ(1名)</p>	<p>7/4 フラダンス練習 15:40～17:00(7名)</p> <p>7/9 客谷自治会 19:00～20:00(7名)</p> <p>7/11 船木クラブネットワーキング 19:00～21:00(60名)</p> <p>7/18 フラダンス練習 15:40～17:00(7名)</p>
9	<p>7/30 栄養士検便(1名) + 外部委託調理員(4名)</p>	<p>6 荷物用EV定期点検</p> <p>8 電気設備点検</p> <p>10 厨房スチーマーコンベクション修理</p> <p>22 消防設備点検</p> <p>25 浄化槽点検</p> <p>26 浄化槽汚泥引き抜き</p>	<p>7/5 傾聴ボラ(1名)</p> <p>7/17 えんどうやまホームカプレンズ(いもたまき会)</p>	<p>7/6 客谷自治会 19:00～20:00(14名)</p> <p>7/7 客谷川長寿会 19:00～20:30(10名)</p> <p>7/8 フラダンス練習 15:40～17:00(6名)</p> <p>7/10 防災訓練会議 14:00～15:00(6名)</p> <p>7/12 東茅老施設打ち合わせ 16:00～(3名)</p> <p>7/16 敬老地域ふれあい事業 13:00～15:00(20名)</p> <p>7/20 旭自治会 9:00～11:30(10名)</p> <p>7/22 フラダンス練習 15:40～17:00(6名)</p>
10	<p>7/31 職員健康診断(18名)</p> <p>7/24 入居者レントゲン撮影 8:30～</p> <p>7/30 インフルエンザ予防接種(職員38名)</p> <p>7/31 入居者健康診断(29名)</p> <p>7/31 栄養士検便(1名) + 外部委託調理員(4名)</p>	<p>1 水巻訓練</p> <p>5 電気設備点検</p> <p>9 DS前大雨対策ブロック設置</p>	<p>7/24 傾聴ボラ(1名)</p>	<p>7/4 客谷自治会 19:00～20:00(14名)</p> <p>7/6 フラダンス練習 15:40～17:00(6名)</p> <p>7/7 東茅老施設打ち合わせ 13:30～15:00(10名)</p> <p>7/20 フラダンス練習 15:40～17:00(6名)</p>
11	<p>7/6 インフルエンザ予防接種(入居者25名)</p> <p>7/30 栄養士検便(1名) + 外部委託調理員(4名)</p>	<p>9 中央電気保安協会定時点検</p> <p>10 総合避難訓練</p> <p>23 地域合同防災訓練 09:00～</p>	<p>7/1 介護支援ボランティア開始</p> <p>7/1 介護支援ボランティア 傾聴(1名)SS</p> <p>7/28 介護支援ボランティア 傾聴(2名)特</p>	<p>7/3 フラダンス練習 15:40～17:00(6名)</p> <p>7/4 東茅老施設打ち合わせ 13:30～15:30(8名)</p> <p>7/7 客谷川長寿会 19:00～20:00(10名)</p> <p>7/13 かさくまカラオケ大会 12:30～16:30(60名)</p> <p>7/17 フラダンス練習 15:40～17:00(6名)</p> <p>7/23 防災訓練 8:30～9:30(130名)</p>
12	<p>7/28 栄養士検便(1名) + 外部委託調理員(4名)</p>	<p>13 荷物用EV定期点検</p> <p>20 さくら備電点検</p>	<p>7/5 介護支援ボランティア 傾聴(1名)SS</p> <p>7/12 介護支援ボランティア 草刈(1名)特</p>	<p>7/1 防災訓練 8:30～9:30(130名)</p> <p>7/2 船木クラブネットワーキング 19:00～20:30(60名)</p> <p>7/6 客谷自治会 19:00～20:00(14名)</p> <p>7/15 フラダンス練習 15:40～17:00(6名)</p>
1	<p>7/31 栄養士検便(1名) + 外部委託調理員(4名)</p>	<p>21 電気設備点検</p>	<p>7/15 介護支援ボランティア 傾聴(1名)DS</p> <p>7/16 ふたばクラブ 21 傾聴(2名)</p> <p>7/23 介護支援ボランティア 傾聴(2名)特</p>	<p>7/5 フラダンス練習 15:40～17:00(8名)</p> <p>7/8 客谷自治会役員会 19:00～</p> <p>7/19 フラダンス練習 15:40～17:00(7名)</p>
2	<p>7/28 栄養士検便(1名) + 外部委託調理員(4名)</p>	<p>16 浄化槽汚泥引き抜き</p>	<p>7/19 介護支援ボランティア 傾聴(1名)DS</p> <p>7/25 風の楽団(朝美の風)</p> <p>7/27 介護支援ボランティア 傾聴(2名)特</p>	<p>7/2 フラダンス練習 15:40～17:00(7名)</p> <p>7/7 客谷自治会 19:00～20:30(14名)</p> <p>7/12 東茅老施設打ち合わせ 14:30～</p> <p>7/14 旭自治会 9:00～11:00(14名)</p> <p>7/16 フラダンス練習 15:40～17:00(7名)</p> <p>7/18 各2区集会 19:00～20:00(15名)</p> <p>7/21 旭自治会 9:00～11:00(10名)</p> <p>7/21 各1区集会 19:00～20:00(23名)</p> <p>7/24 船木クラブネットワーキング 19:00～21:00(60名)</p>
3	<p>7/31 栄養士検便(1名) + 外部委託調理員(4名)</p>	<p>7 荷物用EV定期点検</p> <p>10 AED点検</p> <p>11 震災訓練 10:00～</p> <p>21 消防設備点検</p>	<p>7/5 介護支援ボランティア 傾聴(1名)DS</p> <p>7/6 介護支援ボランティア 傾聴(1名)特</p> <p>7/19 介護支援ボランティア 傾聴(1名)DS</p>	<p>7/1 客谷自治会 13:00～14:30(10名)</p> <p>7/2 フラダンス練習 15:40～17:00(7名)</p> <p>7/9 客谷自治会 19:00～20:30(14名)</p> <p>7/14 客谷自治会総会 19:00～20:30(40名)</p> <p>7/15 旭自治会 9:00～11:00(15名)</p> <p>7/16 フラダンス練習 15:40～17:00(8名)</p>

特養利用者の概要

(1) 利用者の状況

平成27年3月31日現在

保険者別入所状況

保険者別	男	女	計
新居浜市	7	22	29
合計	7	22	29

地域密着型介護老人福祉施設であることから全員が新居浜市在住者となっている。

在所期間の状況

期 間	男	女	計	比率(%)
3年以上～5年未満	1	10	11	38%
1年以上～3年未満	3	6	9	31%
1年未満	3	6	9	31%
合 計	7	22	29	100%

平均利用期間は24.5ヶ月となっている。

年齢構成

区分	65歳未満	65～74	75～79	80～84	85～89	90～100	101～	平均
男	0	1	0	2	4	0	0	83.4
女	0	0	5	4	7	6	0	85.7
合計	0	1	5	6	11	6	0	85.1

①平均年齢は約85.1歳となっている。

②最高齢者は、男性89歳、女性99歳で、最も若い利用者は、男性70歳、女性77歳である。

要介護度の状況 (H27年3月)

[要介護度]

介護度	年齢区分	1	2	3	4	5	合計	平均
男性	64歳以下	0	0	0	0	0	0	0.00
	65～69歳	0	0	0	0	0	0	0.00
	70～74歳	0	0	0	1	0	1	4.00
	75～79歳	0	0	0	0	0	0	0.00
	80～84歳	1	0	0	1	0	2	2.50
	85～89歳	2	0	0	1	1	4	2.75
	90以上	0	0	0	0	0	0	0.00
女性	64歳以下	0	0	0	0	0	0	0.00
	65～69歳	0	0	0	0	0	0	0.00
	70～74歳	0	0	0	0	0	0	0.00
	75～79歳	0	1	0	3	1	5	3.80
	80～84歳	0	0	2	0	2	4	4.00
	85～89歳	1	0	1	1	4	7	4.00
	90以上	1	1	1	1	2	6	3.33
	男 性	3	0	0	3	1	7	2.86
	女 性	2	2	4	5	9	22	3.77
	合 計	5	2	4	8	10	29	3.55
	前年度実績	3	3	3	13	7	29	3.61

平均要介護度は前年に比べ下がった。

(2)入退所状況 利用者状況

〔月別新規入所者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	4
女	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	6
計	2	0	0	0	3	1	1	0	0	1	2	0	10

〔入所前住居〕

区分	在宅	病院			介護施設			その他施設	合計
		一般病棟	精神病棟	療養病棟	介護療養施設	老人保健施設	特別養護老人ホーム		
男	4	0	0	0	0	0	0	0	4
女	1	0	1	0	0	2	1	1	6
計	5	0	1	0	0	2	1	1	10

〔新規利用者世帯状況〕

	単身	夫婦	未婚子同居	既婚子同居	その他	合計
男	3	0	1	0	0	4
女	3	0	1	1	1	6
計	6	0	2	1	1	10

退所者状況

〔退所理由〕

	家庭復帰	入院継続	転居	死亡(施設)	死亡(病院)	施設移動	合計
男	0	3	0	0	1	0	4
女	0	0	0	3	2	1	6
計	0	3	0	3	3	1	10

〔月別退所者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	4
女	1	0	0	2	0	1	0	0	0	2	0	0	6
計	2	0	0	2	1	1	1	0	0	2	1	0	10

6名の方が退所となり、その内死亡による退所は5人となっている。

(3)日常生活動作状況・生活自立度・認知症の判定

日常生活動作の状況

〔利用者29名〕

項目	動作内容	男	女	計	項目	動作内容	男	女	計
移動	時間がかかっても介助なしに一人で歩く	1	4	5	入浴	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	0	8	8
	手を貸してもらするなど一部介助を要する	5	10	15		体を洗ってもらするなど一部介助を要する	5	4	9
	全面的に介護を要する	1	8	9		全面的に介護を要する	2	10	12
食事	やや時間がかかっても介助なしに食事する	5	7	12	着替	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	2	6	8
	おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	1	8	9		袖を通してもらうなど一部介助を要する	3	6	9
	全面的に介護を要する	1	7	8		全面的に介護を要する	3	9	12
排泄	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	2	7	9	整容	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	5	4	9
	便器に座らせてもらうなど一部介助を要する	3	7	10		タオルで顔をふいてもらうなど一部介助を要する	1	7	8
	全面的に介護を要する	2	8	10		全面的に介護を要する	1	11	12

平均介護度の改善により、一部介助が多くなっている。

日常生活自立度（寝たきり度）

[利用者29名]

ランク J 生活自立	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。	
	1 交通機関等を利用して外出する。	1
	2 隣近所なら外出する。	1
ランク A 準寝たきり	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。	
	1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。	9
	2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。	6
ランク B 寝たきり	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ。	
	1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。	2
	2 介助により車椅子に移乗する。	5
ランク C 寝たきり	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。	
	1 自力で寝返りをうつ。	0
	2 自力では寝返りもうたない。	5

認知症老人の日常生活自立度判定

[利用者29名]

項目	痴 呆 の 程 度	
正 常	認知症の症状無し	1
ランク I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	2
ランク II	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。	
	a 家庭外で上記IIの状態が見られる。	1
	b 家庭内でも上記IIの状態が見られる。	3
ランク III	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。	
	a 日中を中心として、上記IIIの状態が見られる。	12
	b 夜間を中心として、上記IIIの状態が見られる。	2
ランク IV	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。	7
ランク M	著しい精神症状や問題行動やあるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	1

(4)ケアプラン実施状況

[ケアプラン：立案状況]

項目	水分	離床	食事	整容	排泄	生きがいづくり	声かけ コミュニケーション	居場所の 確認
人数	8	5	18	0	4	7	1	0
項目	日常生活 の援助	精神の安定	皮膚観察	医療面	姿勢保持	口腔	褥瘡 ハリスカ	運動
人数	4	2	1	1	3	29	2	7

①個々のケアプランはそれぞれ複数となっているが、その内、最も重要と思われるもの各1を挙げている。

②個々のケアプランについては、包括的自立支援プログラム方式により6ヶ月毎及び状態に応じケアカンファレンスにて見直し立案を行い、サービス計画に基づいて毎日実践し、その状況を記録している。

〔ケアカンファレンス：立案人数／家族参加状況〕

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
立案人数	6	13	12	5	8	7	8	4	4	12	4	5	88
家族数	4	7	5	1	5	5	7	2	2	7	1	2	48

ケアカンファレンス開催時39名のご家族が参加され、その割合は55.7%となっており本人やご家族の要望等を取り入れながらケアプランに反映させるよう努めている。

(5)利用者医療状況

疾病状況

順	疾病名	人数	順	疾病名	人数
1	便秘症	26	31	脳血管性認知症	1
2	高血圧症	15	32	狭心症	1
3	脳梗塞後遺症	10	33	アルコール性認知症	1
4	老人性認知症	9	34	アルコール性精神病	1
5	老人性認知症	7	35	両変形性膝関節症	1
6	糖尿病	5	36	顕微鏡的多発動脈炎	1
7	骨粗鬆症	5	37	股関節変形症	1
8	アルツハイマー型認	5	38	脳性麻痺	1
9	胸椎・腰椎圧迫骨折	5	39	子宮頸がん	1
10	大腿骨頸部骨折	4	40	高脂血症	1
11	骨粗しょう症	4	41	脳挫傷	1
12	心不全	3	42	肺気腫	1
13	パーキンソン病	3	43	統合失調症	1
14	鉄性貧血症	3	44	大腸癌	1
15	変形性膝関節症	2	45	乳ガン	1
16	尿路感染症	2	46	心房細動	1
17	腰痛症	2	47	膀胱結石	1
18	胃瘻増設	2	48	心筋梗塞	1
19	心経因性膀胱	2	49	C型肝炎	1
20	肺炎	2	50	ペースメーカー	1
21	慢性腎不全	2	51	前立腺癌	1
22	変形性脊椎症	2	52	硬膜下血腫	1
23	呼吸不全	2	53	難聴	1
24	脳出血後遺症	2	54	腹部大動脈瘤	1
25	白内障	2	55	不定愁訴	1
26	うつ病	2	56	顎関節軟骨肉腫	1
27	心房細動	2	57	頸椎損傷	1
28	前立腺肥大	2	58	網膜萎縮症	1
29	症候性てんかん	1			
30	DNTC	1			
			合	計	163

現在治療中の疾病について、1人で複数の疾病を持っている方が多く、特に高齢者の特徴である、習慣性の便秘症・高血圧・脳梗塞・認知症が多くなっている。

受診状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均
実人数	10	8	15	12	13	11	18	5	16	11	19	16	154	12.8	0.42
延人数	13	10	19	15	19	14	22	8	20	15	22	21	198	16.5	0.54

ご家族の要望での医療機関受診は、積極的に行っている。但し急変による心臓・脳血管疾患骨折等は、当施設で対応困難である為、医療機関での治療をお願いしている。

入院状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均 入院人数
実人数	1	0	2	1	2	2	2	3	3	3	1	1	21	1.8	
延日数	2	0	14	9	10	39	33	32	49	19	17	2	226	18.8	0.6

状態の悪化により、本人や家族の希望で受診・入院することがあるが、家族から終末を施設で迎えたいとの要望がある場合は、説明と同意を得てターミナルケアを実施している。

精神科往診

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2.0
実人数	9	9	9	9	7	8	7	7	9	9	11	11	105	8.8
延人数	14	14	18	17	14	15	14	14	18	19	22	22	201	16.8

精神科医の往診が月2回あり、認知症で周辺症状がある場合は、診察を受け、その診断を処遇に生かしている。

歯科往診

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
回数	2	0	2	2	2	2	2	1	1	3	3	3	23	1.9
実人数	3	0	8	3	1	2	3	2	2	3	3	5	35	2.9
延人数	4	0	9	3	2	4	6	2	2	7	7	15	61	5.1

歯科医師の往診を受け、口腔治療をおもに行っていた。8月より歯科医の往診も始まり継続した治療が行えている。

施設内処置状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
内服	実人数	27	27	27	27	27	27	27	27	27	28	28	327
	延べ人数	2025	2100	2025	2100	2100	2025	2100	2025	2100	2170	1960	24,900
注射	実人数	2	2	3	3	4	5	4	25	4	7	4	68
	延べ人数	8	8	12	9	13	12	8	38	5	12	5	143
インシュリン	実人数	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	延べ人数	60	62	60	44	0	0	0	0	0	0	0	226
浣腸	実人数	16	12	14	12	11	10	13	14	16	14	10	157
	延べ人数	29	26	19	21	19	21	24	22	26	22	19	276

高齢者の特徴である、習慣性の便秘症が多く、緩下剤内服調整にて排便コントロール行っているが便秘症状継続し浣腸の使用頻度が多かった。

身体合併症（心疾患、高血圧症、etc）で内服継続の利用者が増えている。

なお、経管栄養者（胃ろう：2名 鼻腔：1名 10.3%を占めている）となっている。

(6) 身体拘束実施状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1. 車椅子拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. チューブ拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. つなぎ服拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. ミトン型手袋による拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

今年も身体拘束ゼロについては、施設全体で取り組んでおり、身体拘束防止委員会を設置し、利用者の身体拘束を個別に検討し、福祉用具の導入や現在行われている介護を見直し、よりよいケアの実現を目指すよう努力している。委員会メンバーは、施設長・生活相談員・ユニットリーダー・看護職員・栄養士及び、グループ職員からの構成になっている。

(7) 機能訓練実施状況

個別機能訓練を行うにあたっては、ケアプランと連動しながら個別機能訓練計画に基づき機能訓練指導員、看護職員、介護職員、生活相談員、その他の職種の者が協働して計画的に実施している。また、機能回復訓練のひとつに、作業療法士が担当するリハビリテーションがあるが、これは医療行為であるために医師の情報提供書、又はリハビリ訓練の指示箋が必要なので、骨折などで入院し、退院後も当施設で継続して訓練が必要な時、又は、新規入所時においても、在宅のリハビリを継続して希望されるときは、かかりつけ医の情報提供書、又はリハビリ指示箋に基づいて実施している。

[個別訓練実施内容]

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
機能訓練	実人数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
	実施延人数	338	324	306	336	334	320	349	318	344	307	302	3,913
	回数	26	25	24	26	26	25	27	25	27	24	24	305

(8) ユニットケア実施状況

共通行事実施状況

実施日	行事内容	場 所	グループ別 参加利用者数				計
			さくら	ふじ	いちよう	もみじ	
4/2	お花見	施設外	10	7	7	12	36
4/23	よさこい・カラオケ	施設内	0	0	0	15	15
5/1	とべ動物園		1	1	5	4	11
5/27	人形劇		-	-	-	-	未集計
8/15	船木ふるさと夏祭り	施設外	6	3	9	5	23
9/17	いもたき		7	7	9	14	37
11/5	紅葉ドライブ		0	0	3	7	10
12/5	船木小学校交流会	施設内	3	3	4	10	20
12/17	クリスマス会	施設内	6	5	7	10	28
1/1	新年拝賀式		10	6	6	14	36
1/5	初詣		1	2	5	4	12
2/25	賀寿のお祝い		6	6	8	4	24
合 計			50	40	63	99	252

個別ケア 実施状況

《さくらユニット》

(入浴実施状況： 2回/週)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
仰臥位入浴	36	40	38	31	30	28	30	30	34	40	40	41	418
座位入浴	36	38	35	35	40	35	33	28	30	35	33	35	413
自立補助入浴	18	18	17	24	30	28	28	20	20	21	19	20	263
自立入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シャワー浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	90	96	90	90	100	91	91	78	84	96	92	97	1,095

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
おやつ、バラ寿司作り	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	9	17
外食、買い物	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
ドライブ(紅葉見物等)	0	2	0	0	0	0	1	6	0	0	0	1	10
合計	0	2	0	0	0	1	9	6	0	0	0	10	28

《ふじユニット》

(入浴実施状況： 2回/週)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
仰臥位入浴	34	33	34	35	33	29	30	30	30	27	24	27	366
座位入浴	22	24	21	22	23	27	26	25	26	38	32	28	314
自立補助入浴	16	17	17	16	18	17	17	17	17	8	8	9	177
自立入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シャワー浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	16
合計	72	74	72	73	74	73	73	72	73	73	72	72	873

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ドライブ	7	3	6	0	0	0	0	0	0	6	0	0	22
おやつ作り	0	0	7	0	0	0	0	0	0	7	0	0	14
買い物と外食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	6
パーマ、外食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	3	13	0	0	0	0	0	0	13	3	3	42

《いちようユニット》

(入浴実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
仰臥位入浴	24	26	25	27	27	24	26	27	26	27	25	25	309
座位入浴	40	42	40	43	44	42	45	43	43	45	40	44	511
自立補助入浴	16	18	16	18	17	18	15	16	18	18	16	18	204
自立入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シャワー浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	80	86	81	88	88	84	86	86	87	90	81	87	1,024

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
美容・理容など	2	1	3	1	2	3	1	2	3	1	1	3	23
外出・外食・買い物	11	5	1	3	18	1	4	5	1	8	0	2	59
お誕生会	1	3	0	0	2	1	0	1	0	1	1	1	11
合計	14	9	4	4	22	5	5	8	4	10	2	6	93

面会・外出・外泊状況

月/項	面 会		外出	外 泊	
	利用者	人数	人数	人数	泊数
4月	151	220	0	0	0
5月	149	233	0	1	1
6月	138	204	2	2	5
7月	122	189	3	1	5
8月	116	208	2	2	4
9月	85	129	2	1	5
10月	96	138	4	1	5
11月	112	167	2	1	4
12月	111	172	0	1	5
1月	115	197	0	1	4
2月	74	103	0	1	3
3月	90	131	0	1	3
合計	1,359	2,091	15	13	44
月平均	113.3	174.3	1.3	1.1	3.7

①月平均 113回

②外出について、通院及び施設行事は除いている。

給食栄養状況

栄養ケアマネジメントの実施により、一人ひとりの栄養ケアプランが十分に実施されるよう、他職種協働で取り組みを行い、利用者の個別性に対応している。

栄養ケアマネジメント

月	ケアマネジメント実施数 (人)	低 リスク	中 リスク	高 リスク	リスク 未定	合 計
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	28	22	4	2	0	28
3月	29	23	4	2	0	29
合 計	57	45	8	4	0	
月平均	28.5	22.5	4.0	2.0	0.0	

栄養ケアマネジメントによる一人ひとりへの細かいプランを立て実施している。特に大きな変動はなく、栄養状態の安定と維持ができています。

食事の状況

	主 食					副 食				
	普通	握食	粥食	流動	経管	普通	刻食	ミキサー	流動	経管
居 室	6	1	0	0	1	4	3	0	0	1
食 堂	15	2	2	1	1	13	6	1	0	1
合 計	21	3	2	1	2	17	9	1	0	2

行事食の献立状況

月 日	行 事 名	献 立
4/2	お花見	散らし寿司・鶏の唐揚げ・厚焼き玉子・菜の花和え・煮物・桜餅・果物
5/5	こどもの日	オムライス・ビーンズサラダ・オニオンスープ・果物
7/7	七夕	七夕素麺・もち米蒸し・スナッペンどうのカレー炒め・七夕ゼリー・
7/29	土用の丑の日	うなたま丼・大根の冷やし鉢・赤だし・果物
9/15	敬老の日	赤飯・サバの塩焼き・紅白素麺の清汁・茶碗蒸し
9/17	いもたき会	炊き込みご飯・芋炊き・白和え・果物・牛乳・ジュース
10/16	お祭り	祝い寿司・炒り鶏・茶碗蒸し・果物
10/31	ハロウィン	ご飯・グラタン・ブロッコリーの洋風炒め・スパサラ
12/15	実演 握り寿司	握り寿司(海老、はまち、サーモン、たまご、マグロ) ミニきつねうどん 茶碗蒸し・きゅうりの三杯酢・フルーツ
12/24	クリスマス会	バターライス・ミートローフ・野菜サラダ・コンソメスープ・サイダー寒天
12/31	大晦日	年越しそば・炒り豆腐・山芋の梅肉和え・果物
1/1	お正月(祝い膳)	赤飯・ブリの照り焼き・栗きんとん・菊花かぶ・伊達巻・煮物・数の子 柚子おろし・紅白かまぼこ・サケマリネ・紅白素麺の清汁・果物
2/3	節分	巻寿司・鶏の唐揚げ・赤だし・たまごボーロ
3/3	ひなまつり	菜の花ちらし・じゃが芋のソテー・のっぺい汁・煮豆・ひなあられ

・選択食・・・・週2, 3回(昼食に実施)

短期入所生活介護の利用状況

	人数	延日数	1日平均
4月	60	402	13.4
5月	62	443	14.3
6月	59	407	13.6
7月	57	426	13.7
8月	63	442	14.3
9月	55	417	13.9
10月	55	436	14.1
11月	61	409	13.6
12月	58	417	13.5
1月	56	429	13.8
2月	54	357	12.8
3月	51	402	13.0
合計	691	4,987	
月平均	57.6	415.6	13.66

〔月別新規入所者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	1	5	0	0	0	1	1	1	0	2	1	2	14
女	6	1	2	1	2	2	0	4	3	1	4	4	30
計	7	6	2	1	2	3	1	5	3	3	5	6	44

9. デイサービスセンターふたばの森

平成26年度デイサービスセンターでは、要介護・要支援状態となった方々に交流の機会を提供するとともに、アクティビティ活動及び機能訓練を行うことにより、心身の自立を促し生活の活性化を図ることで、利用者の方々が住み慣れた地域(環境)の中で心豊かな生活が継続できるように支えることを目指した。8月以降は職員配置の問題により、やむなく専門的な機能訓練ができなくなってしまったが、レクリエーションの中に機能訓練的要素を取り入れつつ日常生活訓練を行った。

平成27年3月31日現在

利用者状況 通所介護・通所予防介護を含む

1. 要介護度別登録者

要介護度	65～69		70～74		75～79		80～84		85～89		90～94		95～100		合計	
	計		計		計		計		計		計		計		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要支援1			2				3				4				9	
			1	1				3				4			1	8
要支援2					1		2		5						8	
						1		2		5						8
要介護1			2		2		10		4		2				20	
				2	1	1	3	7	2	2	1	1			7	13
要介護2			1		4		1		2		1				9	
			1		1	3		1		2		1			2	7
要介護3					1				1		3				5	
					1					1	1	2			2	3
要介護4			1						1		2		1		5	
			1						1			2		1	2	3
要介護5	2														2	
	2														2	
合計	2		2		8		16		13		12		1		58	
	2		1	1	3	5	3	13	3	10	2	10		1	15	43

※平均年齢：82.9歳で(男性80.0歳 女性86.0歳)最高齢者は、男性で90歳、女性で95歳。

□ 平均要介護度：2.1

【平成26年度デイサービスセンター利用状況(月別)】

	平成26年				平成27年				合計				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月	1月	2月	3月
前月末 サービス利用人員	50	51	49	47	44	44	44	45	46	50	47	50	567
新規 サービス利用人員	0	2	0	0	1	1	3	1	3	2	5	1	19
月末 サービス利用人員	51	49	47	44	44	44	45	46	50	47	50	49	
月間 運営日数	26	27	25	27	26	26	27	25	25	24	24	26	308
月間 利用実人員	51	49	47	44	44	44	45	46	50	47	50	49	566
月間 利用延人員	468	474	422	423	373	398	408	373	381	332	345	384	4781
一日平均利用人数	18.0	17.6	16.9	15.7	14.3	15.3	15.1	14.9	15.2	13.8	14.4	14.8	15.5
要支援1	24	25	33	26	32	31	32	29	31	28	30	36	357
要支援2	63	71	48	64	61	63	71	75	75	66	61	72	790
要介護1	130	134	131	138	110	119	114	94	95	98	127	138	1428
要介護2	100	105	95	82	77	72	80	79	81	63	41	42	917
要介護3	111	106	84	79	63	77	74	72	71	46	50	62	895
要介護4	27	24	23	24	21	30	22	15	19	23	21	26	275
要介護5	13	9	8	10	9	6	15	9	9	8	15	8	119
入浴情報(延べ)	374	403	355	334	305	330	323	267	279	251	267	319	3807
一般浴	349	365	325	308	284	305	295	244	253	223	199	258	3408
リフト浴	25	38	30	26	21	25	28	23	26	28	68	61	399
食事情報(延べ)	467	474	421	423	369	398	408	373	381	332	333	384	4763
機能訓練/機能向上	237	230	213	9	0	0	0	0	0	0	0	0	689
アクティビティ	467	474	421	423	369	398	408	373	381	332	333	384	4763

平成26年デイサービスセンターふたばの森実施内容

主	な	行事	実	施	内	容
4月	桜見物 ゲーム おやつ	誕生者お祝い 個別レク 習字 園芸	池田の池、土居方面へ桜見物に出かけ、利用者さんに喜んでいただくことができました。			
5月	つつじ見物 ゲーム 誕生者お祝い	ふれあい 薔薇見物 習字 製作	池田の池、山根公園、にて、つつじ、薔薇等の、四季折々の花をみることにより、季節感を感じて頂くことができました。			
6月	アジサイ見物 習字 誕生者お祝い	菖蒲見物 ゲーム カラオケ	池田の池へ菖蒲見学に出かけ、記念撮影を行うことで、利用者さんに喜んでいただくことができました。 山根公園には薔薇見物に出かけ、同様に記念撮影を行いました。			
7月	ふれあい 誕生者お祝い	ゲーム 製作 七夕笹飾り おやつ カラオケ	短冊に願い事を書いたり飾り付けをして、七夕を楽しんでいただきました。 ミニトマトの収穫をして、食べていただきました。			
8月	誕生者お祝い 夏レク	個別レク ゲーム 習字 どれみ広場	盆踊りの音楽をかけながら利用者の皆様とおどりました。スイカ割りなどして、楽しく季節感を味わっていただきました。			
9月	おやつ作り 個別レク 誕生者お祝い	ゲーム ふれあい ふたばの森喫茶 習字 絵手紙	昔の映画を見て、懐かしんでいただきました。 お祭りのDVDを見て、お祭りへの気分を高められていました。喫茶では、職員がいつもと違う服装で応対し、コーヒー、ジュース等を提供しました。			
10月	運動会 誕生者お祝い	おやつ作り 太鼓祭りDVD鑑賞 製作 音楽療法	運動会をし、身体を動かしたり、他の利用者と交流を深めることができました。またお祭り集会にも参加され大変喜ばれました。			
11月	紅葉見物 カラオケ 誕生祝い	おやつ作り 習字 ふれあい ゲーム	別子ラインへ紅葉見物に行き秋を感じて頂きました。 カラオケ大会を開き、昔の歌や職員の歌を聞いて楽しめました。			
12月	クリスマス会 おやつ ゲーム	忘年会 製作 個別レク 誕生者お祝い	利用者さんと職員とでクリスマス会を行い、雰囲気味わっていただきました。また忘年会では今年1年を振り返っていただきました。			
1月	初詣 おやつづくり 誕生者お祝い	製作 福笑い ゲーム 書初め	近くの神社へ初詣に行きました。			
2月	豆まき おやつづくり	賀寿のお祝い ゲーム 誕生者お祝い 製作	賀寿を迎えられた方のお祝いをしました。赤いちゃんちゃんこを着て記念撮影をし、お祝いしました。声を出しながら豆まきをし、他者との交流を深められました。			
3月	習字 ゲーム 昔遊び 桜見物	誕生者お祝い 個別レク おやつづくり	時間のあるときに市内をドライブし桜の名所に出かけることで、心身の活性化になりました。			

グループホームふたばの森

目標及び課題	具体的取り組み
(1) GH稼働率の維持・向上のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 年間を通して稼働率97.5%を目標とし維持・向上できるような健康管理・事故防止に努めた結果、年間の稼働率が98.9%と目標数値を大きく上回る結果となった。 ② 利用者ごとの摂食量・栄養バランス、水分摂取量が確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援を行い健康管理に努めた。 ③ 体調悪化徴候時は、早期に受診を行い、重篤化の回避に努めた結果、長期入院を回避することができた。 ④ 利用者ごとの転倒アセスメントを行い、転倒事故の回避に努めた。
(2) 認知症ケアの実践（見直し）	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者ごとの24時間アセスメント・24時間シートを作成し、利用者ごとの生活習慣に配慮したケアの提供を実施した。
(3) 事業運用の安定化（スキルアップ（人材育成））	<ul style="list-style-type: none"> ① 運用業務・日常業務についてそれぞれの職員が役割と責任を持ち、連携を図ることで事業運用の安定化を図った。 ② ヒヤリハット活動報告を推進し、危険予測能力の向上及び事故発生防止に努めた。 ③ 認知症研修及びその他の外部研修に参加しました。認知症実践者研修に2名参加し、研修提出課題内容について高い評価を得た。
(4) 外出への取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 外食や買い物等、利用者の意向をくみ取り、それに合わせて外出を企画・実行した。 ② 定期的に季節行事（花見・紅葉他）、外出・散歩等の機会を設けた。

GH利用者の概要

(1)利用者の状況

平成27年3月31日現在

保険者別入居状況

保険者別	男	女	計
新居浜市	4	14	18
西条市	0	0	0
四国中央市	0	0	0
合計	4	14	18

地域密着型サービス事業所のため、保険者は新居浜市のみである。

在所期間の状況

期 間	男	女	計	比率(%)
20年以上	0	0	0	0.0
15年以上～20年未満	0	0	0	0.0
10年以上～15年未満	0	0	0	0.0
7年以上～10年未満	0	0	0	0.0
5年以上～7年未満	0	0	0	0.0
3年以上～5年未満	4	11	15	83.4
1年以上～3年未満	0	1	1	5.5
1年未満	0	2	2	11.1
合 計	4	14	18	100.0

年齢構成

区分	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	合計	平均年齢
男	0	0	0	2	2	1	0	0	4	80.5
女	0	0	1	0	4	0	8	1	14	87.4
合計	0	0	1	2	6	0	8	1	18	85.8

①最高齢者は、男性84歳、女性96歳で、最も若い利用者は、男性76歳、女性73歳である。

要介護度の状況

〔要介護度〕

介護度	年齢区分	自立	支援	1	2	3	4	5	合計	平均
男性	40～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	75～79歳	0	0	0	0	1	0	0	1	3.00
	80～84歳	0	0	0	1	0	1	0	2	3.00
	85歳以上	0	0	0	0	1	0	0	1	3.00
女性	40～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	70～74歳	0	0	0	0	0	0	1	1	5.00
	75～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	80～84歳	0	0	1	0	1	2	0	4	2.75
	85歳以上	0	0	0	0	6	2	1	9	3.44
	男性	0	0	0	1	2	1	0	4	3.00
	女性	0	0	1	0	7	4	2	14	3.43
	合計	0	0	1	1	9	5	2	18	3.33
	前年度実績	0	0	1	7	3	4	3	18	2.89

(2)入退居状況

利用者状況

〔月別新規入居者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成26年度中 入退居なし

〔入居前住居〕

区分	在宅	病院			介護施設			その他施設	合計
		一般病棟	精神病棟	療養病棟	介護療養施設	老人保健施設	特別養護老人ホーム		
男	3	0	0	0	0	0	0	1	4
女	8	1	2	0	0	0	0	3	14
計	11	1	2	0	0	0	0	4	18

〔新規利用者世帯状況〕

	単身	夫婦	未婚子同居	既婚子同居	その他	合計
男	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

退居者状況

〔退居理由〕

	家庭復帰	入院継続	転居	死亡(施設)	死亡(病院)	合計
男	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

平成26年度中 入退居なし。

〔月別退居者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

〔3〕日常生活動作状況・生活自立度・認知症の判定

日常生活動作の状況

〔利用者18名〕

項目	動作内容	男	女	計	項目	動作内容	男	女	計
移動	時間がかかっても介助なしに一人で歩く	4	5	9	入浴	やや時間がかかっても介助なしに一人で行える	2	1	3
	手を貸してもらするなど一部介助を要する	0	5	5		体を洗ってもらするなど一部介助を要する	0	5	5
	全面的に介護を要する	0	4	4		全面的に介護を要する	2	8	10
食事	やや時間がかかっても介助なしに食事する	4	9	13	着替	やや時間がかかっても介助なしに一人で行える	2	4	6
	おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	0	2	2		袖を通してもらうなど一部介助を要する	2	6	8
	全面的に介護を要する	0	3	3		全面的に介護を要する	0	4	4
排泄	やや時間がかかっても介助なしに一人で行える	3	3	6	整容	やや時間がかかっても介助なしに一人で行える	2	2	4
	便器に座らせてもらうなど一部介助を要する	1	4	5		タオルで顔をふいてもらうなど一部介助を要する	2	7	9
	全面的に介護を要する	0	7	7		全面的に介護を要する	0	5	5

日常生活自立度（寝たきり度）

[利用者 18名]

	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。	
ランク J 生活自立	1 交通機関等を利用して外出する。	0
	2 隣近所なら外出する。	3
	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。	
ランク A 準寝たきり	1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。	7
	2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。	5
	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ。	
ランク B 寝たきり	1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。	1
	2 介助により車椅子に移乗する。	2
	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。	
ランク C 寝たきり	1 自力で寝返りをうつ。	0
	2 自力では寝返りもうたない。	0

認知症老人の日常生活自立度判定

[利用者 18名]

項目	痴 呆 の 程 度	
正 常	認知症の症状無し	0
ランク I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	0
ランク II	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。	
	a 家庭外で上記 II の状態が見られる。	0
	b 家庭内でも上記 II の状態が見られる。	0
ランク III	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。	
	a 日中を中心として、上記 III の状態が見られる。	9
	b 夜間を中心として、上記 III の状態が見られる。	4
ランク IV	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。	4
ランク M	著しい精神症状や問題行動やあるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	1

受 診 状 況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均
受診人数	10	14	10	11	12	11	11	12	12	11	12	12	138	11.5	0.4
受診回数	17	24	22	25	27	19	23	21	26	17	18	21	260	21.7	0.7

入居前のかかりつけ医への受診を継続的に支援している。

入 院 状 況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均
実人数	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0	1	6	0.5	入院人数
延日数	0	0	5	2	0	0	0	0	0	51	0	9	67	5.6	0.2

行 事

実施月	1階ユニット (どんぐり)	2階ユニット (くるみ)
4月	花見 (池田池公園)	花見 (池田池公園) 藤棚見物
5月	潮干狩り マイントピア芍薬見物	香川しらとり動物園 潮干狩り
6月	あじさい見物	あじさい見物 菖蒲見物
7月	外食 そうめん流し	外食 そうめん流し
8月	船木ふるさと夏祭り	元船木夏祭り
9月	いもたき (四国中央市) 外食	いもたき (四国中央市)
10月	太鼓台見物	太鼓台見物
11月	サーカス見物 紅葉見物	サーカス見物 紅葉見物
12月	クリスマス 外食 餅つき	クリスマス 外食 餅つき
1月	初詣	初詣
2月	節分	節分 菜の花見物
3月	外食	外食